

指宿市考古博物館
時遊館 C•CC• はしむれ

平成 11・12 年度

博物館年報・紀要

第4号

指宿市教育委員会

序

時遊館COCCOはしむれは、指宿市の文化情報の発信・市民と観光客の交流の場として、平成8年4月20日にオープンしました。この博物館は、南に約4.2haの国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡が広がる、野外の遺跡と一体となった施設です。

温泉を含む雄大で恵まれた自然とそこに息づいた指宿の先人たちの歴史と文化を紐解く施設として、「自然と隼人、いきづく文化」というメインテーマが設定されています。

平成11年度、12年度も、このテーマのもと、体験学習事業をはじめ、様々な文化事業、文化財保護に取り組んでまいりました。

時遊館COCCOはしむれでは、こうした活動成果を生かしながら、よりよい博物館を目指してまいりたいと思います。関係各位のご支援・ご協力に感謝申し上げるとともに、今後とも、ご指導・ご教示を賜りますようお願い申し上げ、序文にかえさせていただきます。

指宿市考古博物館
時遊館COCCOはしむれ
館長 山下隼雄

目次

平成11年度編

◆博物館事業の部

(1) ゴールデンウィークイベント	1
(2) 歴史セミナー（全4回）	2
(3) 古代にチャレンジ（古代体験学習）	2
(4) 企画展『ドキ！どき！新発見 かごしま縄文さきがけ展－南九州縄文文化の源流を探る－』	3
(5) いぶすきシルバー美術展	3
(6) 博物館資料保存・修復活動	4
(7) 博物館教育・普及活動（ミュージアムティーチャー会による解説活動）	4
(8) ミュージアムティーチャー研修会	4
(9) 博物館実習生受け入れ	5
(10) 『COCICOだより』の発刊	6
(11) 学芸員研究活動	29

◆後援・共催・協賛事業の部

(12) 時遊館COCICOはしむれ友の会活動支援	29
(13) 二人展	31
(14) 菊の千輪咲展示会	31
(15) あざみの会発表展（油絵・水彩画）	31
(16) 山川写楽クラブ写真展	31
(17) いでゆ会作品展	31
(18) トールペイント作品展示会	31

◆発掘調査の部

(19) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査	31
(20) 県営広域農道事業に伴う水迫遺跡発掘調査	32
(21) NTT携帯電話電波塔建設に伴う岩本遺跡発掘調査	33

◆文化財保護管理の部

(22) 國指定史跡指宿橋牟礼川遺跡買上事業	34
(23) 水迫遺跡現地見学会	34

◆刊行・編集書籍等

(26) 『ドキ！どき！新発見 かごしま縄文さきがけ展－南九州縄文文化の源流を探る－』展示図録	34
(27) 重要遺跡範囲確認調査発掘調査報告書	34
(28) 岩本遺跡発掘調査報告書	34

平成12年度編

◆博物館事業の部

(1) ゴールデンウィークイベント	35
(2) 歴史セミナー（全4回）	36
(3) 古代にチャレンジ（古代体験学習）	37
(4) 企画展『水迫遺跡からのメッセージ展』	37
(5) いぶすきシルバー美術展	38
(6) 博物館資料保存・修復活動	38
(7) 博物館教育・普及活動（ミュージアムティーチャー会による解説活動）	38
(8) ミュージアムティーチャー研修会	38
(9) 博物館実習生受け入れ	39
(10) 『COCICOだより』の発刊	40
(11) 学芸員研究活動	64

◆後援・共催・協賛事業の部	
(12) 時遊館C O C C O はしむれ友の会活動支援	64
(13) 親しむ博物館づくり事業「体験！はしむれ学園」	65
(14) 押し花展	66
(15) 菊の千輪咲展示会	66
(16) あざみの会発表展(油絵・水彩画)	66
(17) いでゆ会作品展	66

◆発掘調査の部	
(18) 水追遺跡総合調査	66
(19) 県営広域農道事業に伴う水追遺跡発掘調査	67

◆文化財保護管理の部	
(20) 国指定史跡指宿橋半札川遺跡買上事業	68

◆刊行・編集書籍等	
(23)『水追遺跡からのメッセージ』展示図録	68
(24) 水追遺跡総合調査報告書	68

附編

時遊館C O C C O はしむれにおける博物館教育学の実践と課題 ミュージアムティーチャー 井上栄一郎 小原家達 広浜満夫	69
---	----

指宿市考古博物館におけるA T（アシスタントティーチャー）のサービス業務について アシスタントティーチャー 有田真紀 高野洋代 岡本さやか	73
--	----

1. 事業概要

平成11年度に実施した主な事業は以下の通りである。

◆博物館事業の部

- (1) ゴールデンウィークイベント
- (2) 歴史セミナー（全4回）
- (3) 古代にチャレンジ（古代体験学習）
- (4) 企画展『ドキ！どき！新発見 かごしま縄文さきがけ展－南九州縄文文化の源流を探る－』
- (5) いぶすきシルバー美術展
- (6) 博物館資料保存・修復活動
- (7) 博物館教育・普及活動（ミュージアムティーチャー会による解説活動）
- (8) ミュージアムティーチャー研修会
- (9) 博物館実習生受け入れ
- (10) 『C O C C O だより』の発刊
- (11) 学芸員研究活動

◆後援・共催・協賛事業の部

- (12) 時遊館C O C C O はしむれ友の会活動支援
- (13) 二人展
- (14) 菊の千輪咲展示会
- (15) あざみの会発表展（油絵・水彩画）
- (16) 山川写楽クラブ写真展
- (17) いでゆ会作品展
- (18) トールペイント作品展示会

◆発掘調査の部

- (19) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査
- (20) 県営広城農道事業に伴う水迫遺跡発掘調査
- (21) NTT携帯電話電波塔建設に伴う岩本遺跡発掘調査

◆文化財保護管理の部

- (22) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡買上事業
- (23) 水迫遺跡現地見学会
- (24) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡管理
- (25) 市指定文化財管理

◆刊行・編集書籍等

- (26) 『ドキ！どき！新発見 かごしま縄文さきがけ展－南九州縄文文化の源流を探る－』展示図録
- (27) 重要遺跡範囲確認調査発掘調査報告書
- (28) 岩本遺跡発掘調査報告書

2. 各事業の実績と展開

以下、主な事業についてその概要を記す。

◆博物館事業の部

(1) ゴールデンウィークイベント

- ①体験！まがたまアクセサリーづくり
 - a. 日時 平成11年5月1日～5日
午前10:30～12:00、午後1:00～4:00
 - b. 場所 時遊館C O C C O はしむれ1階講堂（形作り）、国指定地（焼成）
 - c. 参加 253名

②宇宙公開講座

- a. 日時 平成11年5月5日 午後1:00～4:30
- b. 場所 時遊館C O C C O はしむれ歴史劇場、国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡

- c. 内容 ロケットに関する講演会 講師 宮里光憲氏（宇宙開発事業団種子島宇宙センター）
 おもしろ科学実験「ブロケットを飛ばそう」
 ビデオ上映「宇宙を探るロケット・人工衛星」 パネル展示（5月1日～5日、特別展示室）
- d. 参加 156名

(2) 歴史セミナー（全4回）

- a. 目的 博物館に関わりのある自然・歴史分野について広く教養を深め、合わせて、博物館の利用促進をはかる。
 セミナーは生涯学習講座の一環として位置付け、講座生を募集して参加を募るとともに、一般聴講者も参加できるものとした。
- b. 日時・題目等
- 第1回 平成11年6月13日（土）午後1:30～午後3:00
 講師：牛ノ浜 修（鹿児島県立埋蔵文化財センター）
 演題 「石器が示す文化圏」
 - 第2回 平成11年7月24日（土）午後1:30～午後3:00
 講師：中村耕治（鹿児島県立埋蔵文化財センター）
 演題 「古墳時代の政治造出」
 - 第3回 平成11年9月25日（土）午後1:30～午後3:00
 講師：池畠耕一（鹿児島県教育委員会文化財課）
 演題 「考古資料に見る隼人の宗教観」
 - 第4回 平成11年11月6日（土）午後1:30～午後3:00
 講師：中島哲郎（川内市歴史資料館）
 演題 「政治と文化—國府の隣—」

c. 場所 1階講堂・歴史劇場

d. 主催 指宿市教育委員会

e. 参加 第1回 52名、 第2回 48名、 第3回 23名、 第4回 33名

(3) 古代にチャレンジ

- a. 目的 古代の歴史・文化を素材にした体験学習や古代住居での宿泊体験などを通じて、地域の歴史や文化についての学習を深める。
- b. 日時 平成11年8月10日（火）午前9時～11日（水）午前9時まで
- c. 場所 時遊館 COCCO はしむれ、国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡、知林ヶ島
- d. 体験学習の概要
- ①知林ヶ島での古代釣り体験
 麻紐、石鍾等を使った古墳時代の釣りの方法を再現し、釣りを体験する。
 - ②勾玉作り
 勾玉について出土資料にもとづき学習し、粘土で勾玉を作る。
 - ③古代人からのメッセージ
 古代を題材にしたゲームや講話で、鹿児島の古代について学習する。
- e. 参加 県内小4～中2年生計27名、指導者（社会教育課職員）9名 友の会8名



体験活動の様子①(古代釣り体験)



体験活動の様子②（展示室にて）

(4) 企画展『ドキ！ドキ！新発見かごしま縄文さきがけ展－南九州縄文文化の源流を探る－』

- a. 目的 水道遺跡の遺物・遺構は、南九州に花開いた國分市上野原遺跡に見られる「上野原文化」のルーツを探る上で、極めてである。企画展示においては、発掘調査で新しく出土した資料を中心に九州の縄文時代草創期から早期の出土資料を公開し、南九州の古代文化への関心を喚起することを目的とする。
- b. 主催 指宿市教育委員会
- c. 開催期間 平成11年12月28日～平成12年1月23日
- d. 開催場所 2階特別展示室
- e. 展示ストーリー 縄文早期に花開いた上野原文化は、全国的にも早い時期に南九州の縄文文化が成熟していたことを示している。今回の水道遺跡や岩本遺跡の発掘調査でそのルーツをとく手掛かりを得ることが出来た。特に水道遺跡の発掘調査では、円筒形土器の最古段階とされてきた岩本式土器に先行する土器型式の存在が明らかになり、縄文土器から円筒形土器での型式変化に一つの解答を与える成果が得られた。この2つの遺跡を中心に同じ時代の鹿児島県内外の出土遺物をみると文化交流・情報の行き来も読み取れる。これまでの研究成果を踏まえ、円筒形土器の発生と展開に焦点をあて、南九州縄文文化の独自性を紹介する。
- f. 入場者数 1,103名



展示の様子①



展示の様子②

(5) いぶすきシルバー美術展

鹿児島県内在住の60歳以上の方々の絵画作品を公募し、一堂に展示するユニークな美術展である。創作活動の一般公開の場として、また、芸術文化の振興に寄与することを目的として平成2年度から開催しており、今年度で第10回目を迎える。

- a. 日時 平成11年8月1日（日）～15日（日）
- b. 主催 指宿市・指宿市教育委員会・指宿市文化協会
- c. 出展作品数 262点（市内41点・市外221点）
- d. 出展者数 192名（市内25名・市外167名）
- e. 最高齢者 92歳（鹿児島市）
- f. 平均年齢 72歳
- g. 年齢別構成 60歳代 70名
70歳代 103名
80歳代 84名
90歳代 1名
- h. 出展作品種別 油画 149点
水彩画 18点
日本画 33点
水墨画 36点
ちぎり絵 24点
版画 2点



会場の様子③

- i. 入場者数 3400名

(6) 博物館資料保存・修復活動(実物資料・書籍・写真等)

- a. 目的 博物館の基幹をなす事業の一つとして、資料の保存・修復活動を実施した。
- b. 場所 復元作業室・燐蒸室
- c. 内容 今年度は、民具資料について、燐蒸作業を実施した。燐蒸作業は、殺かび、殺虫を期して行なった。
燐蒸作業の完了後は、一般収蔵庫へ収納した。また、発掘調査によって出土した遺物の復元・整理作業を行った。
- d. 燐蒸実施実績 平成12年 2月23日～2月24日 民具燐蒸

(7) 博物館教育・普及活動（ミュージアムティーチャー会による解説活動）

- a. 目的 博物館の教育普及活動の最も基礎的な業務の一つである常設展示の案内・解説について、恒常的な情報の提供、教育普及効果の向上を目的にミュージアムティーチャー制度を導入した。安定したサービスの供給に向けて、MT会に委託することによって成立している。
- b. 内容 ミュージアムティーチャーの組織は下記のとおりである。
ミュージアムティーチャー3名 案内・解説業務
アシスタントティーチャー3名 受付、もぎり業務、および案内・解説業務の補助
- c. 成果 ミュージアムティーチャーの解説活動については、来館者から、「丁寧な説明・案内があつて分かりやすい。」というような評価が多い。今後も継続して恒常的に案内・解説業務の提供を行っていくことが必要である。

(8) ミュージアムティーチャー研修会

- a. 目的 研修会を通じて、ミュージアムティーチャーやアシスタントティーチャーの資質を向上し、博物館において、より高い質のサービスを提供することを期する。
- b. 場所 歴史劇場研修室
- c. 内容 全6回の研修会を実施した。
 - 第1回 4月28日（水）櫛辛札川遺跡の集落復元遺構模型と実際の発掘調査成果との比較について
 - 第2回 5月26日（水）指宿市内の主な遺跡について（現地視察）
 - 第3回 6月23日（水）縄文土器と弥生土器について
土器の誕生・土器の種類と変遷・施文方法などを展示資料に即して研修
 - 第4回 7月28日（水）隼人について 隼人とは・隼人の朝貢・南九州の隼人と畿内隼人についての研修
 - 第5回 8月25日（水）南九州の火山活動史と火山灾害遺跡についての研修
 - 第6回 9月22日（水）成川式土器についての研修
 - 第7回 10月27日（水）陶邑古窯群・須恵器の概要についての研修
古墳について 各時期の代表的な古墳の概要、南九州の墓制について研修
 - 第8回 11月24日（水）貝塚について（櫛辛札川遺跡・市来貝塚・黒橋貝塚・浜貝塚・加曾利貝塚・鳥浜貝塚など）
 - 第9回 12月22日（水）旧石器時代～縄文時代の狩猟について 石器の種類と変遷、落とし穴
 - 第10回 1月26日（水）祭祀遺跡について 南部九州の祭祀遺跡の概要、全国の代表的な祭祀遺跡
 - 第11回 2月23日（水）古代の住居について 種類と変遷・構造について
 - 第12回 3月22日（水）本年度の反省平成12年度の研修計画検討

(9) 博物館実習生の受け入れ

平成8年度より博物館実習生の受け入れを実施している。平成11年度は、3名の実習生を受け入れた。

- a. 期間 平成11年7月15日(木)～7月30日(金)
- b. 実習生 鹿児島大学2名、志学館大学1名
- c. 博物館実習内容

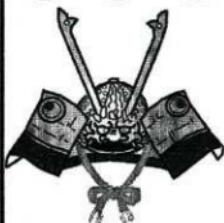
平成11年度博物館実習計画

7月	曜	鹿大	志大	8:50～10:10	10:00～12:00	13:00～14:20	14:50～16:20	担当
15日	木	●	●	教育委員会訪問 オリエンテーション (課長・鎌田)	博物館施設案内 (鎌田)	指宿市の文化財行政 について (小村)	博物館事業運営 について (中摩)	中摩
16日	金	●	●	博物館展示案内 (渡部)	受付・接客業務実習 (渡部・MT・AT)	展示解説業務実習 (MT・AT)	展示解説業務実習 (MT・AT)	渡部
19日	月	●	●	博物館資料整理作業 の流れ (下山・渡部)	博物館資料整理作業 (下山・渡部)	ワークシート作成 実習 (鎌田)	ワークシート作成 実習 (鎌田)	鎌田
21日	水	●	●	古代にチャレンジ 体験学習準備実習 (渡部)	古代にチャレンジ 体験学習準備実習 (鎌田)	古代にチャレンジ 体験学習準備実習 (渡部)	地域博物館としての 今後の展望 (下山)	下山
22日	木	●	●	博物館企画展示 立案実習 (下山・中摩)	博物館企画展示 立案実習 (下山・中摩)	博物館企画展示 立案実習 (下山・中摩)	博物館企画展示 立案実習 (下山・中摩)	下山
23日	金	●	●	シルバー美術展 搬入受付実習 (寺田・大道)	シルバー美術展 搬入受付実習 (寺田・大道)	シルバー美術展(志) 実習のまとめ(鹿) (渡部)	シルバー美術展(志) 教育委員会訪問(鹿) (小村・渡部)	渡部
26日	月		●	COCO COだより 作成実習 (渡部)	COCO COだより 作成実習 (鎌田)	古代勾玉づくり 体験学習(準備) (寺田)	古代勾玉づくり 体験学習(準備) (寺田)	中摩
27日	火		●	受付・接客業務実習 (AT)	展示解説業務実習 (MT)	古代勾玉づくり 体験学習 (渡部・寺田)	古代勾玉づくり 体験学習 (渡部・寺田)	渡部
28日	水		●	シルバー美術展 作品展示実習 (寺田・大道)	博物館運営の動向 MT・AT研修参加 (MT・AT)	シルバー美術展 作品展示実習 (寺田・大道)	シルバー美術展 作品展示実習 (寺田・大道)	寺田
29日	木		●	人吉子供会 古代勾玉づくり (文化係)	人吉子供会 古代勾玉づくり (文化係)	水道遺跡発掘調査 体験実習 (鎌田)	水道遺跡発掘調査 体験実習 (鎌田)	鎌田
30日	金		●	博物館自主事業 企画立案 (下山)	博物館自主事業 企画立案 (下山)	実習のまとめ (鎌田)	教育委員会訪問 (小村・鎌田)	下山

生涯学習の場として博物館を活用してもらうために、博物館での開催行事の情報提供と文化情報の発信を行なっている。COCCOだよりは、平成8年8月号から毎月発行しており、平成12年3月号で、通算44号を数える。

時遊館COCCOはしむれ お知らせ版 第 33号 平成11年4月10日発行 指宿市教育委員会社会教育課

ゴールデンウィークは COCCOにおいでよ！



COCCOはしむれでは、開館4周年を記念して、多彩なイベントを企画しました。

みなさまお誘いあわせのうえ、おいでください。

お待ちしております。♪♪♪

三二企画面コーナー

○●○◇◆□■日本最南端の古墳

弥次ヶ湯古墳出土品展示

入場無料

展示場所：時遊館COCCOはしむれロビー 展示期間：5月1日（土）～9日（日）

4月号

お問い合わせ先
23-5100

宇宙公開講座

かい
さい
開催

◆◆だれでも自由に参加できる楽しい講座です。みんなさそって参加しましょう◆◆

とき：5月5日（水）こどもの日

午後1時から

入場無料

ところ：時遊館COCCOはしむれ及びはしむれ公園

講座内容

※参加されるみなさまは、忘れずにはさみ・色マジックを持って来てね！

1. 宇宙開発事業団種子島宇宙センター「宮里光憲」氏によるロケットに関する講演会（午後1時～2時頃まで、はしむれ歴史劇場）
2. おもしろ科学実験 午後2時頃～4時まで★ブリコロケットを飛ばそう☆水ロケット試射
3. ビデオ上映 宇宙さぐるロケット・人工衛星ほか
4. 展示 期間5月1日～5日まで パネル展示、インターネットで 宇宙情報にアクセス

土器製作学級

古代の土器づくりを体験してみませんか！

申し込み先：COCCOはしむれ

☎ 23-5100

申し込み期限 4月15日（木）まで

材料費 800円

土器製作日 4月17日（土）

土器窯入日 5月1日（土）

先着 20名まで

両日参加できる方に限ります。



料金	期間
1セシット 三百円	5月 1日～5日まで 午前十時と午後一時 午前・午後先着50名まで

ア
ク
セ
サ
リ
ー
体
験
く
ぎ
ぐ
れ
り

COCCOはしむれ友の会発足

「COCCOはしむれ友の会」の発足に伴い、会員を募集しています。指宿の歴史と文化を楽しく学びながら、有意義な活動をしてみませんか。詳細は、下記のとおりです。たくさんの方々の参加をお待ちしております。

●活動計画

- 博物館講座への参加（年4回）
- 博物館ボランティア活動への参加
(土器づくり体験の支援：5月と9月)
- 遺跡の見学会など

●お問合せ　社会教育課 文化係 23-5100

●会費

年 1000円
遺跡見学会等の費用は別途徴収

会員募集

あなたも生活学校運動に参加してみませんか

生活学校は少しでも暮らしをよくしたいと願う女性の集まりです。

「子どもたちの遊び場」「生活環境にやさしいリサイクル社会」「高齢者の福祉」など個人や家庭で解決できないことをみんなの問題として取り上げ、自分たちで活動し、少しづつ解決していきます。

指宿市生活学校では、いま生ゴミを減らす運動に取り組んでいます。参加をご希望の方は、4月末日までに下記までお申し込み下さい。

●お問合せ先

市生活学級運営委員長
高田ノリ子 23-2650
中央公民館内生活学級
事務局 24-4569



県民大学書道講座の受講生を募集します。内容・申込方法は下記のとおりです。

●申込み方法

葉書に住所・氏名・年齢
生年月日・電話番号・公民館名を記入し、下記住所に送って下さい。また、電話での申込みは、本人が直接、指宿高校事務室窓口へ連絡してください。

●申込締切 4月末日

●講座開設期間

平成11年5月15日～12月
18日、主に第1・3土曜
日の計18回

時間 13:30～15:30

●定員 40名

●受講対象者 一般成人

●場所 指宿高校書道室

●経費 年間3000円程度

詳しくは下記までお問合せ下さい。

〒891-0402 指宿市十町236 指宿高校
生涯学習県民大学受講者受付係
電話22-3535 FAX24-3985

指宿高校
生涯学習県民大学
書道講座
受講生募集

4月の休館日

5日（月）
12日（月）
19日（月）
26日（月）
28日（水）
詳しくは当館まで
お尋ね下さい。

土器づくりにチャレンジ



土器づくりの様子

第10回記念大集会 作品募集中 シルバーベース展

シルバー美術展は、60才以上の方々の絵画作品を県内から公募し、一堂に展示するユニークな美術展です。指宿市教育委員会では、洋画、日本画、水彩画、版画、ちぎり絵などの作品を募集しています。今回で10回目を迎える記念大会です。たくさんの方々の作品をお待ちしております。

応募規程、開催要項など、詳しくは、下記事務局までお問合せ下さい。

会期 平成11年8月1日(日)～8月15日(日)

会場 時遊館COCCOはしむれ

お問い合わせ先

時遊館COCCOはしむれ内

社会教育課文化係 電話 23-5100 まで

指宿市考古博物館「時遊館COCICOはしむれ」お知らせ版

卷之三

5月号

お問い合わせ
23-5100

4月17日、第1回の土器製作学級が開かれました。職員から土器づくりについて説明を受けた後、古代と同じ方法で、土器づくりにチャレンジ。思っていたよりも難しいようで、子どもから大人まで真剣なまなざしで、「粘土と格闘」していました。

指宿市自主文化事業のお知らせ
鹿児島大学学友会管弦楽団
『クラシック

ふれあいコンサート』

日時 7月20日(火)
午後6時30分開演(予定)



入場は無料です。皆様のお越しをお待ちしております。

ミュージアムティーチャーの展示案内

開館4年目に入ったCOCCOはしむれ。開館以来、「ミュージアムティーチャー」と呼ばれる専門解説員が、十三万六千人を越える来館者の方々に指宿の古代の歴史を紹介してきました。そのミュージアムティーチャーが、紙面上で、COCCOはしむれのユニークな展示を紹介します。

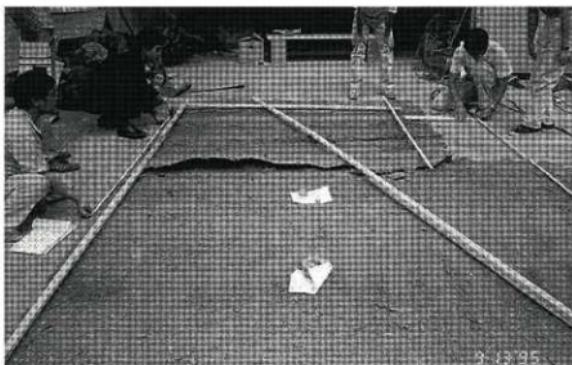
「はぎとり」技術の進歩にびっくり

ミュージアムティーチャー 井上榮一郎

一昔前の博物館では、貝塚や地層は、写真や絵でしか見られなかったのですが、COCCOはしむれ館内では、「はぎとり」の技法により、貝塚や地層をそのままの状態で本物をじかに見ることができます。これは特殊な薬剤を貝塚や地層の断面に塗つて、それに布をあて、くつついたところを「はぎとる」技法によるものです。

館内에서도ます気付くのが、市来貝塚（市来町）のはぎとりです。今からおよそ三千五百年前（縄文後期）の人々が生ゴミを捨てた場所です。なんと貝の種類が約百三十種類、イノシシやイルカの骨、小動物、魚類の骨も混ざっています。また、当時の人

使った石器や土器片なども投げ込まれています。この貝塚を見ると、当時の人々がどんなものを食べ生活していたのかを知ることができます。その他、橋牟礼川遺跡の縄文時代から現代までが重なった地層、開聞岳付近の火山灰層のはぎとり、熊本県黒橋貝塚のはぎとり、イタリアのポンペイ遺跡を埋め尽くした軽石と火碎流のはぎとり等々、古代の息吹が聞こえてくるようです。ひとりでも多くの市民の方々に見ていただきたいと思います。ご来館をお待ちしています。



加工前の橋牟礼川遺跡の「はぎとった」地層

『まなび』で育む南のふるさと

生涯学習合同開講式

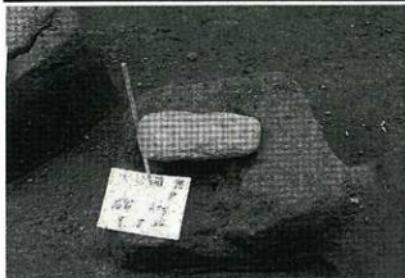
講演会のお知らせ

- ◆日 時 平成11年5月14日(金)
午後1時30分~
- ◆会 場 指宿市民会館
- ◆講 師 豊重 哲郎 先生
(串良やつたる会会長)
- ◆演 題 『一日一生、感動に生きる』

5月の休館日
10日(月)
17日(月)
24日(月)
26日(水)
31日(月)
詳しくは当館まで
お尋ね下さい。

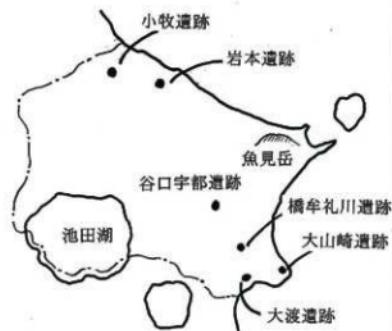


現れるか?! 縄文の村 水迫遺跡の発掘調査はじまる



平成8年の確認調査で発見された石斧

指宿市内の主な縄文遺跡



鹿児島大学学友会管弦楽団



入場は無料です。皆様のお越しをお待ちしております。

広域農道の整備に伴う水迫遺跡の発掘調査が5月末から始まりました。平成8年の確認調査で、上野原遺跡よりも古い縄文時代早期前半（約1万年前）の土器や石器、調理場の一部が発見されたことから、付近にそのころの集落があるのではないかと予想されています。調査は、来年2月まで行なわれる予定です。

指宿市考古博物館「時遊館 COCCO はしむれ」お知らせ版

COCCO だより

6月号

お問い合わせ
23-5100

第10回記念大会 シルバー美術展



シルバー美術展は、60才以上の方々の絵画作品を県内から公募し、一堂に展示するユニークな美術展です。たくさんの方々の作品、ご来場をお待ちしております。応募規程、開催要項など、詳しくは、下記事務局までお問合せ下さい。

会期 平成11年8月1日(日)～

8月15日(日)

会場 時遊館 COCCO はしむれ

お問合せ先

時遊館 COCCO はしむれ内
社会教育課文化係 電話 23-5100まで

「100000はしむれ」
「100000つて？」

考古博物館と聞くと、「難しい、静か、暗い」といった堅苦しいイメージが浮かびがちです。考古学に興味のない人には、縁遠い場所、つまらない所に写ることもあるのではないかでしょうか？

COCOはしむれは、従来の博物館のイメージを一新する工夫を凝らし、魅力ある博物館を目指しています。その特色の一つが、ミュージアムティーチャー、アシスタントティーチャーと呼ばれる解説員制度です。わかりやすく、親しみやすい説明で多くのお客様に喜ばれています。古代体験ゾーンでは、お客様とのアットホームな雰囲気の会話を通じて、指宿の「はしむれ」をより身近に感じていただけるよう努めています。



ところで、COCOはしむれの「COCO」には、大正時代、橋牟礼川遺跡が、豪傑の川遺跡が、豪傑の

は、イタリア語で「秘蔵つ子、かわいい子ども」とい

う意味があります。いつもながら、お客様にかわいがられるようにこの名前がつけられました。一人でも多くの市民の皆様に、指宿の

魅方がたくさんつまつたCOCOはしむれを見て頂きたいと思います。

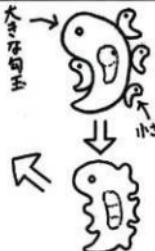
きっと新しい指宿に出会えるはずです。私たちと一緒に古代の指宿を体験してみませんか。ぜひ、遊びにおいて下さりお待ちしております。

アシスタントティーチャー 有田真紀

OCCO おもちゃがたま 子持勾玉

橋牟礼川遺跡では、昭和63年、竪穴住居を埋めていた土の中から見つかりました。当時の権力者の持ち物と考えられています。

子持勾玉は、古墳時代の儀式で使われた勾玉の一つです。もともと、大きな勾玉に小さな勾玉がいくつもひついていたことからこの名前が付けられました。時代とともに、小さな勾玉は、ゴジラの背中のようなギザギザの形に変わっていました。



出土した子持勾玉

いくつもの勾玉が集まつてできていることから、普通の勾玉より、強い呪術の力をもつていると考えられていました。なぜか。発見例は少なく、出土品としては鹿児島県では、橋牟礼川遺跡のものだけです。

みんなのために
自分のために

6月の休館日	
7日（月）	
14日（月）	
21日（月）	
23日（水）	
28日（月）	
詳しくは当館までお尋ね下さい。	

わたしはすきになりたいな、何でもかんでもみいんな。ねぎも、トマトも、おさかなも、のこらずすきになりたいな。だれでもかれでもみいんな。うちのおかずはみいんな。かあさまがおつくなつたもの。世界のものはみいんな、お医者さんでも、からすでも、のこらすすきになりたいな。だれでもかれでもみいんな。神さまがおつくりになつたもの。

【金子みすず童話集「わたしと小鳥とすずと」（JUJU出版局）より】

指宿市考古博物館「時遊館COCOO はしむれ」お知らせ版

7月号
お問い合わせ
23-5100

COCOOだより

ココ

古代への誘い

小原 家達

いた様子である。部屋のひと隅に置かれた萬葉や壇を見

つけ「神棚もあるんですね。なにをお祈りしたのでしょうか」と話は続いた。

「古事記」学習会



古代の歴史・文化を学習し、古代住居での宿泊体験に参加してみませんか。古代住居での日時 平成11年8月10日(火)～8月11日(水)

対象 県内在住の小中学生三十名(小学四年生以上)

募集期間 平成11年6月21日～7月12日(月)

お電話にてお申し込み下さい。申込多数の場合には抽選といたします。

第一回歴史セミナー
講師 中村耕治先生
演題 「古墳時代の政治進出」
日時 平成11年7月24日(土)
場所 時遊館COCOO はしむれ 历史劇場

下さり。
講師は無料です。
お説い合わせの上お越し下さい。



青空は澄み、すすきの穂波は揺れ、草薙から秋の虫が囁く。畠の粟もすっしりと穂を垂れ、五百年前のはしごれは、秋真つ盛りである。ここは端端の一軒の農家。(竪穴住居)「わあ、茅の匂い。懐かしか、茅葺き家に入ると気持ちが落ち着きます。」と孫連れのご婦人が見えた。この家は、地面を50センチくらい丸い形に掘り窪め、四本の柱を立て、周りに寄せ木を巡らして、屋根を茅や葦で50センチの厚さで葺いている。地面を溝でこんなに厚い茅葺きなら冬は暖かく、夏は涼しくて暮らしあがむ。しなうね。「全くそのとおりでしょう。」と相槌を打つ。寝床で、小学六年生の孫が「こんな家でキャンプしたい。」と寝転んでいる。ご婦人は、成川式土器の鉢を手にして、「こんな大きな鉢で箸はないの。」と驚

いた様子である。部屋のひと隅に置かれた萬葉や壇を見つけ「神棚もあるんですね。なにをお祈りしたのでしょうか」と話は続いた。

「すっかり古代にタイムスリップされている。「古代の人々にいろいろ聞いてみたいのです。教えてもらいたいことがあるんです。」と真剣な表情。「古代人はここにいまよ。あなたの手の中の鉢です。手の感触で古代人と对话しているのです。」と語ることであった。

第3展示室「体验ゾーン」での「コマ」である。科学文明の著しく発達した現代社会である。私たちは満ち足りた生活にあっても、ふと、わが身を古代の中に運び、生活の原点を探りたいという気持ちに駆られることがあります。こんな時でかけるところが「はしむれ」ではないでしょうか。ぜひ、おいで下さい。

大江戸ミニ四鐵 お江戸のお店 第一回

江戸時代のユニークな暮らしぶりを紹介する新シリーズです。今回のテーマは「お店」。江戸の商店では、どの店が一目で分かるように、通りに面した腰高障子に商売の内容を文字や絵で書き表していました。さて、左の障子は何屋さんでしょうか。

その一

その二



自主事業のお知らせ

鹿児島大学学友会管弦楽団

丹波小合唱部も出演 指宿公演

日時 7月20日海の日

6時30分開演

会場 指宿市民会館

入場無料

鑑賞するだけでなく体験できるクラシックコンサート



第10回いぶすきシルバー美術展を迎えるにあたつて

（終焉の地を指宿に得る。これ莫福なり）

いぶすきシルバー美術展事務局長

木佐賀 熙

私が「いぶすきシルバー美術展」を企画した発想にはある知人がある。温泉がある。海・山の幸が豊富にある。こんな地に老人のユートピアを創り、みんなで製作三昧の余生を送れたらこそ至福と言うべきでしよう。」という言葉がありました。

地域には高齢者の創作活動に応えるよう様々な教室が開かれていました。しかし体力・気力に限界を迎えた老人たちが意欲的に参加できる公募展はどこにもなく、勿論、名目上ではたいがいの公募展に年齢の上限は無いのですが、世界の長寿国である鹿児島県の指宿に、この老人達の願いを満たす公募展を創りたいという信念を強く持つたのであります。本展は今年記念すべき10回展を迎えます。この間数々のドラマがありました。幾人かの出展者が永久の旅路についています。病床に伏した老婆が私の手を取つて呟きました「先生、私はもうだめでも今私の繪は展覧会場に飾られているのですね」そして不日のうちに亡くなられました。私は思う成人の日に成人の主張があるように、いぶすきシルバー美術展には声無き老人の主張があるのでした。

祝
いぶすきシルバー美術展！！

会期 平成11年8月1日(日)～

8月15日(日)

シルバー美術展については休館日でもご覧になれます。時間は午前9時～午後5時までです。

お問い合わせ先

時遊館 COCCO はしむれ 電話 23-5100 まで

◇7月の休館日◇

5日(月) 12日(月) 19日(月)

26日(月) 28日(水)

力作すらり、一堂に展示

第10回いぶすきシルバー美術展開催



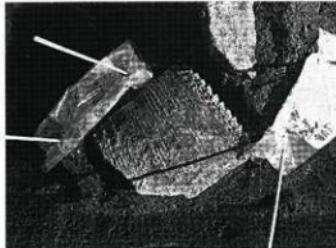
開所式の後、にぎわう会場（第9回の様子）

COCCO だより
ココ
8月号

お問い合わせ
23-5100

水迫遺跡速報

発明家 古代人
アシスタントディーチャー
迫田智子



出土した岩本タイプの土器片

水迫遺跡の発掘調査が始まっています。二ヶ月が過ぎました。現在、屋久島付近の鬼界カルデラから噴出した「アカホヤ」と呼ばれる火山灰を取り除き、その下の地層を調査中です。遺跡からは、約一万年前の「岩本タイプ」と呼ばれる土器片（岩本地区で初めて見つかったのでこの名前がつけられました。）や矢じり、石を集めて作られた調理場の跡などが発見されています。これから繩文集落の発見に期待がかけられています。

元である土器も、初めは、影も形も何もない状態から、古代人が何かをきっかけとして発明したもののです。この発明によって、固体物やアクリの強い物といった、それまで食べられなかつた物が食べられるようになつたのです。また、博物館には、木製の火起こし道具があります。これも古代人が試行錯誤しているうちに、木と木の摩擦によって火が起きるということを発見したのだと思います。現代の私たちは、色々な道具を使って豊かに生活しています。しかし、古代の人々は、何もない中から、生活が豊かになるように道具を一つ一つ発明していくのです。古代人は未開で野蛮だと思われるがちですが、実は私たちよりもはるかに創造的な生活をしていたのではないで



岩本タイプ

指宿市考古博物館「時遊館COCCO はしむれ」お知らせ版

第十回を迎える「いぶすきシルバー美術展」がいよいよ開幕します。期間は8月1日～8月15日までです。記念大賞には、後平志保子さん（鹿児島市）の作品が、指宿市長賞には、山口敏雄さん（鹿屋市）の作品が選ばされました。応募作品数は二百六十二点を数え、円熟した筆致の作品は見応え充分です。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

土器を見学しながら、「よくこんなものを考え出しましたね」とおっしゃるお客様がいらっしゃいます。わたしもそう思います。

現代のお鍋の大元である土器も、初めは、影も形も何もない状態から、古代人が何かをきっかけとして発明したもののです。この発明によって、固体物やアクリの強い物といった、それまで食べられなかつた物が食べられるようになつたのです。また、博物館には、木製の火起こし道具があります。これも古代人が試行錯誤しているうちに、木と木の摩擦によって火が起きる



勾玉づくりに挑戦する子どもたち

好評、勾玉づくり体験

国指定史跡の中に新しくできた土器焼き体験ひろばでの勾玉づくりが好評です。オリジナルの勾玉をあなたも作ってみませんか。20名以上の団体から受付いたします。地区的行事に、体験学習にご利用ください。料金は入館料を含め、小中学生300円です。1週間前までの予約が必要になります。詳しくは、当館までお問合せ下さい。

大江戸ミニ國鑑

江戸時代のユニークな暮らしぶりを紹介するシリーズの二回目です。今回のテーマは「まじない」です。

子どもの痛いところを治すまじない



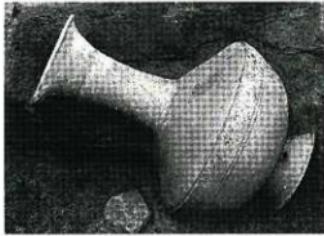
「ちちんぶいぶい御世(こよ)の
おんたから、おんたから」と三回
言つてから痛いところをなでると
不思議と痛みがひいたと言われて
います。「ちちんぶいぶい」の言葉
は江戸時代からあつたのですね。

8月の休館日

- 2日（月）
 - 9日（月）
 - 16日（月）
 - 23日（月）
 - 25日（水）
 - 30日（月）
- 詳しくは当館まで
お尋ね下さい。



ら、噴火を鎮められたことが判り
ました。太宰府では同じ形の壺
が地鎮に使われていることか
ら、噴火を鎮める儀式に使われた可能性
も考えられています。



この壺は、開

聞岳の火山灰の
直下から発見さ
れました。出土

した時の様子か
らはじめは地面
に立っていて、

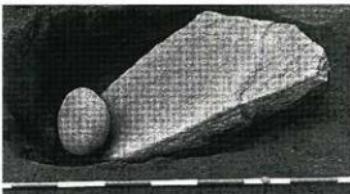
噴火の最中に倒
れました。

COCO はしむれ逸品紹介

須恵器長頸壺

すえき ちようけいつぼ

文化財課
(鹿児島県教育委員会)



水迫遺跡速報

九月二十五日(土)の歴史セミナー 古代隼人の宗教観に迫る

指宿市考古博物館「時遊館 COCCO はしむれ」お知らせ版

COCCO だより

9月号

お問い合わせ
23-5100

水迫遺跡では、現在、縄文時代早期～草創期と呼ばれる約1万年前の地層を調査中です。今回、黒曜石の矢じりに加え、ドングリなどの木の実をすりつぶして粉にする「石皿」と呼ばれる石器が発見されました。このことから、食糧獲得のために植物採集も行っていたことが判りました。

「玉屋」とは現在でいうとシャボン玉を売る行商人のことです。江戸時代のシャボン玉は、ムクノ木の実を煎じた汁を竹の筒に入れて、あしの茎のくだけて吸っていました。ほかにも、「手車売り」(現在のヨーヨー)や「竹とんぼ売り」「風車売り」など様々なおもちゃの行商人がいて江戸の町を賑わせていました。



江戸時代のユニークな暮らしぶりを紹介するシリーズの三回目です。今回のテーマは「おもちゃの行商人」。左のさし絵は当時「玉屋」と呼ばれたある行商人を表わしたもののです。さて、「玉屋」とは一体?・?

第23回ふるさとの集い



8月13日(金),『第23回中高生ふるさとの集い』が開催されました。美化活動の後、バレーボール大会が行なわれ、小牧Aチームが同じ今和泉校区の岩本中東チームをやぶり優勝しました。中高生197名が集い美化活動にバレーボールにさわやかな汗を流しました。

日 時 9月12日(日)午前9時～3時45分

会 場 指宿市民会館、なのはな館、新指宿ホテルの3会場で行なわれます。

主 催 鹿児島県教育委員会、指宿市教育委員会、鹿児島市・鹿児島郡、揖宿・川辺・熊毛地区各市町村教育委員会

お問合せ 時遊館 COCCO はしむれ
社会教育課社会教育係
電話 23-5100

親子がともに育つ家庭教育のあり方を
いっしょに考えるフォーラム「父・かえ
る」が左記の内容で開催されます。どなた
でも参加できますので、お気軽に立ち寄
り下さい。

フォーラム「父・かえる」開催

鹿児島は火山の博物館

アシスタントティーチャー

高野洋代

火山列島といわれる日本は、何万年も昔から数多くの火山活動を繰り返してきました。鹿児島もその例外ではなく、当時は姿を変えて現代に残っているもの、当時の人々の生活に大きな爪痕を残したもの、数万年経った現代でもその影響を人々に与え続けているものとあります。約七九万年前、錦江湾の入口付近にあった阿多カルデラが噴火しました。その時の噴火口の外輪山の一部は、知林ヶ島、魚見岳にその姿を変えて現在に残っています。また、始良カルデラは約二万四千年前に世界最大規模の噴火をして、その時の火山灰は喜入町前浜付近の国道沿いにシラスの断崖としてそびえています。そして、現在、そのシラスは土砂崩れの原因となって人々を脅かしています。さらに身近な例では、繩文時代から平安時代の間、指宿地方は度重なる開聞岳の噴火によって大きな被害を受けました。当時の被書の様子は、「日



火山列島といわれる日本は、何万年も昔から数多くの火山活動を繰り返してきました。鹿児島もその例外ではなく、当時は姿を変えて現代に残っているものの、当時の人々の生活に大きな爪痕を残したもの、数万年経った現代でもその影響を人々に与え続けているものとあります。約七九万年前、錦江湾の入口付近にあった阿多カルデラが噴火しました。

本三代実録」や発掘調査によつて知ることができます。家や家族を失い、飢えや伝染病等の困難に立ち向かひながら、やがて彼らは自分達の生活の基盤を再び指宿にもとめ、みごとに災害からの復興をとげました。長い年月を経て成長し、多くの色鮮やかな葉をつけた大木の上から見る景色は素晴らしいですが、その根元や太い木の幹を見ることも大切だと思います。物質的には今の方が豊ですが、困難に立ち向かつていて人々の軌跡を見ると、指宿の先人達がずっと前向きでひたむきだったのではどう展示物を見ながら思います。指宿の歴史にあなたも触れてしまませんか。COCOOはしまれでお待ちしています。

シルバー美術展開幕

9月の休館日
6日(月)
13日(月)
20日(月)
22日(水)
27日(月)
詳しくは当館までお尋ね下さい。

第10回いぶすきシルバー美術展が8月15日閉幕しました。期間中多数の方々の来場がありました。ありがとうございました。

指宿マジッククラブから、指宿市の青少年健全育成に役立ててと指宿市子ども育成連絡協議会(市子連)に78,747円の寄付がありました。これは、先日開催された指宿マジックショーの収益金が寄付されたもので、市子連の下川床会長は「青少年健全育成事業に役立てていいけるものを購入していきたい」と語っています。

市子連に
指宿マジッククラブが寄付

狩人の遺産、石鎚の矢じり出土

水迫遺跡



出土した矢じり

発掘調査のすすむ水迫遺跡から、石の矢じり(石鎚)が十三点出土しました。矢じりの中には、鬼門平付近くでとれる赤い色の頁岩を材料にしている物もありました。大きさは手指の先くらいのものが多く、平たい三角形をしています。他にも、様々な種類の石があり、現在詳細を調査中です。

COCCHOだより

10月号

お問い合わせ
23-5100

指宿市考古博物館「時遊館COCCO はしむれ」お知らせ版

歴史セミナー

第四回の歴史セミナーは、川内市薩摩国分寺跡出土の考古資料を中心に「薩摩国」成立の謎に迫ります。

演題（仮題）

【政治と文化 国府の謎】

講師 中島哲郎先生

(川内市教育委員会)

日時 平成11年11月6日(土)

午後1時30分～午後3時

聴講は無料です。皆様のおいでをお待ちしております。

菜のはな子どもセンター 情報募集のお知らせ

子どもたちが参加できる楽しい行事の情報を皆様にお知らせしようと、時遊館COCCO はしむれに「菜のはな子どもセンター」が設置されました。子どもたちが体験・活動できる行事やボランティア活動についてのお問い合わせ・ご相談など、お気軽に尋ねください。また、自分たちのまちや近くのまちでの体験学習やイベント、「子育て」にも役立つ行事などたくさんの情報を募集しています。皆様の情報を寄せ下さい。

■お問い合わせ

菜のはな子どもセンター

(時遊館COCCO はしむれ内)

電話 23-5200

月～金曜日 午前10時～午後4時



大自然との戦いの中から始つた

ミュージアムティー・チャ一
廣濱 満夫

大江戸ミニ四鑑

りも豪華なシカの肉が盛られ食事を終えた後の満足感と自然への感謝の気持ちから思わず発したであろう「ご馳走さま。」の言葉が聞こえ、家族団欒の姿が見えるよう

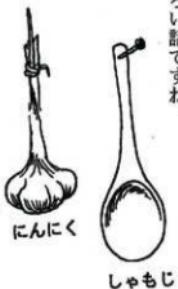
家庭崩壊、飽食暖衣、少子高齢化と言われる現代社会の中で古代人の生きざまに触ることにより失われつづいています。追詰めたとはいニホンムカシジカは大きな動物です。狩りは命懸けの戦いだったたの

今からおよそ二万年前の指宿では石の道具を使いニホンムカシジカなどの狩猟、漁獵の生活をしていましたと考えています。時遊館COCICOはしむれの二階第二展示室にはこの時代の狩人とニホンムカシジカの壮絶な命のやり取りの姿が立体的に復元されています。追詰めたとはいニホンムカシジカは大きな動物です。狩りは命懸けの戦いだったたの

ニホンムカシジカを狩る古代人たち
かつて狩りは命懸けの大仕事でした



10月の休館日
4日(月)
12日(火)
18日(月)
25日(月)
27日(水)
詳しくは当館までお尋ね下さい。



江戸時代のユニークな暮しぶりを紹介するシリーズの四回目です。今回のテーマは「魔除け」。流感や伝染病などの疫病の侵入を防ぐために江戸の人々は様々な「魔除け」を考案しました。しゃもじをつるして病魔をすくいたずそとしやれてみたり、においの強いニンニクを門口につるして病魔を撃退したり・・・ヨーロッパではドラキュラ退治にニンニクが活躍しますが、日本でも同じようにニンニクが使われていたのはおもしろい話ですね。

講師 (まちおこし実践家)	内容 「まなびで育む南のふるさと」 民俗芸能、意見・体験発表など	月13日(土)13時 会場 市民会館 大会テーマ
演題「子どもの目線 大人の目線」 山田大蔵先生	会場 展示発表 11月13日(土) 14日(日) 総合体育館	会場 舞台発表 11月14日(日) 市民会館

芸術の秋満喫

二人展開催

高野清納さん(油絵)
と中村昭見さん(クレバ

ス画)の二人展が開催されます。入場は無料です。

11月3日(水) 13:00~17:00

4日(木)~9日(火) 9:00~17:00

10日(水) 9:00~12:00

会場 時遊館 COCCO はしむれ 2階特別展示室

菊の千輪咲展示会



指宿千輪会による菊の千輪仕立てが展示されます。
豪華で美しい季節の花をご堪能下さい。

11月2日(火)~11月14日(月)まで(予定)

会場 時遊館 COCCO はしむれ 1階ロビー

山川写楽クラブ写真展



山川写楽クラブの会員の皆さんによる写真展が開催されます。入場は無料です。

11月21日(日) 13時~11月28日(日)まで

会場 時遊館 COCCO はしむれ 2階特別展示室

COCCO だより

11月号

お問い合わせ
23-5100

指宿市考古博物館「時遊館 COCCO はしむれ」お知らせ版

文化祭・生涯学習推進大会
平成11年度指宿市文化祭・生涯学習推進大会が次の日程で開催されます。多数のご来場をお待ちしております。

第四回の歴史セミナー
は、川内市薩摩国分寺跡出土の考古資料を中心に「薩摩國」成立の謎に迫ります。

歴史セミナー

演題(仮題)
『政治と文化 国府の謎』

講師 中島哲郎先生
(川内市教育委員会)

日時 平成11年11月6日(土)

午後1時30分~午後3時
聴講は無料です。皆様のおいでをお待ちしております。

岩本遺跡の発掘調査始まる

指宿市内では、小牧遺跡に次いで古い縄文時代草創期の岩本遺跡の発掘調査が始まりました。携帯電話の電波塔建設に伴う事前の調査で、約100戸を調べる予定です。現在発掘調査が行なわれている水迫遺跡とほぼ同じ時代の遺跡で、両方の遺跡の調査成果から、約1万年前の指宿の人々の暮らしぶりが判ってくるのではと期待されています。



指宿地区女性コーラスのつどい

指宿地区女性コーラス連盟に加入している5団体の合同発表会が開催されます。入場は無料です。皆様のおいでをお待ちしております。

■日 時 11月28日(日) 13:00~15:30

■会 場 指宿市民会館

■出演団体 喜入グリーンコーラス(喜入町)

コールかいもん(開聞町)
コールさざなみ(頤娃町)
山川コールつばめに(山川町)

■出演団体 コールハイビスカス(指宿市)

■賛助出演 西指宿中学校リコーダークラブ
辻 優先生 独唱(自然ふれあいセンター所長)
YUKO & ホワイトウイング

おしゃれの秋ミニ企画

縄文人のヘアースタイル

指宿市内では、縄文時代の遺跡の発掘調査が相次いでいますが、いったい彼らはどんな姿をしていたのでしょうか。調べてみると全国各地で出土している土偶から、その姿を想像することができます。意外と? バラエティーに富んだ縄文人の髪型を出土品とイラストで以下にご紹介します。

11月の休館日

- 1日(月)
 - 8日(月)
 - 15日(月)
 - 22日(月)
 - 24日(水)
 - 29日(月)
- 詳しくは当館までお尋ね下さい。

泉拓良・西田泰民編集
『縄文世界の一万年』集英社
一九九九年より抜粋



水迫式土器発見

万
千
四
百
年
の
時
を
越
え
て



水迫式土器の土器片。円筒形のものと胴の部分が丸くなるものとがある。

C
O
C
C
C
O
だ
よ
り

12月号

お問い合わせ
23-5100

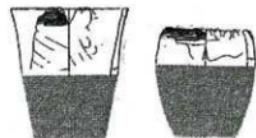
縄文時代早期

↑

縄文時代草創期



上野原遺跡などで見つ
かっている円筒形土器



水迫式土器（円筒形のものと隆帶文土器の形に近いものとがある）



平底、丸底、尖底などがある
隆帶文土器

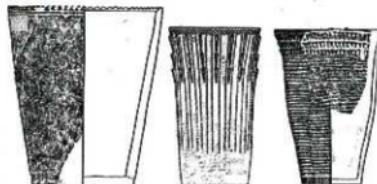
縄文時代の早期（約一万年前）、南九州の人々は、筒形で底が平たい円筒形の土器を使っていました。円筒形の土器は、他の地域ではほとんど使われていなかったため南九州で独自に発達した土器と考えられてきました。上野原遺跡の人々の生活を支えたのもこの円筒形の土器です。一方、それ以前の縄文時代草創期（約一万二千年前）と呼ばれる頃は、粘土ひもで「飾り」を付けた胴の部分が丸くなる「隆帶文土器」が使われてい

ました。隆帶文土器と円筒形土器は、形状が全く違うため、「二つの土器の関連がよく判っていませんでした。しかし、今回の水迫遺跡の調査で、隆帶文土器と円筒形土器の両方の特徴を合せ持つ、「水迫式土器」が発見され、南九州の縄文文化を代表する円筒形土器のルーツが明らかになりました。国際的に注目を浴びている南九州の縄文文化誕生の手掛かりが水迫遺跡に埋もれていたのです。

水迫式土器の発見で何が判ったのか

第6回企画展開催 『南九州縄文文化の源流を探る』

平成11年12月28日(火)～平成12年1月23日(日)



九州各地の縄文時代草創期～

早期の出土品を一堂に公開

縄文人の歯と土器

たという。縄文人に「下」左脇の筋突起すかが本とも生えていた。しかし、現代人では、これが生まれない人も多い。それどころか最近では、第二大臼歯の生えない人もいるという。これもまた、歯の使い方が減ったためで、退化現象にはほかならないと言われている。縄文時代には、成人になるころに前歯を抜く風習があったが、これを除外すると、彼らの歯は生えるべき数が少なかった。そろって並んでいた。結して縄文人に比べて私たちの歯は退化してしまったということである。それも土器の発明と関係がありそうで面白

弱さも文明がもたらした進歩ともいえる反面、動物としての人間の退化を促したものらしい。繩文人の歯は、上の歯と下の歯が毛抜きのようになきんと合っていた。現代人は、上の歯が前面に、下の歯が後方にきて、はさみの刃のようになり、噛み合わせ場合が絶対多数だそうだ。それも歯の使い方が減つてあってこれが退化し、下あこは独立しているので上のあこよりも退化の速度が速く、差異としてはさみ式の歯み合せになつた。

ミュージアムティー・チャヤ
井上榮一郎

明というものが何がなんだか判らなくなってしまう。将来のことを思う時、繩文人がよかつたなどと嘆く人たちは出てくるのでなかろうか。現在の私がその一人である。今日も中歯が疼く。

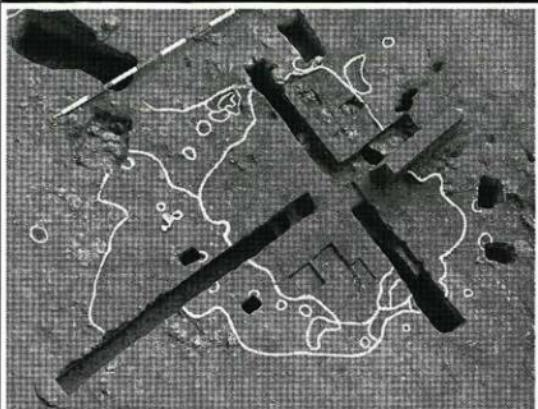
もしれない。土器を発明しなかつたイヌイットやオーストラリアのアボリジニたちは、今も毛抜き式の歯でたくましく噛み締めていた。そこまでくると文

い。日本の土器の発明は世界的に最も古いと言われている。土器の発明は、調理・衛生の上ではまさに革命的であつただろうが、煮炊きによつて食物を軟らかくすることにも大きく働き、以後、食物はますます軟らかくなり、歯の使用をいよいよ軽減したのではなかろうか。こここそ歯を軟弱化し、あごを退化させる決定的な動機か

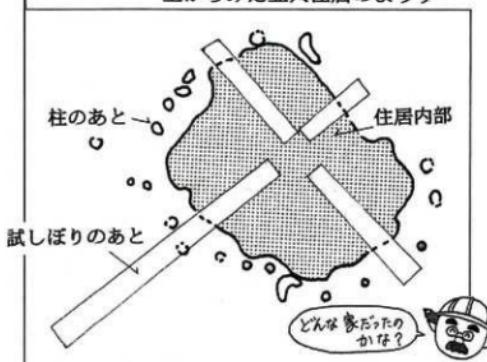


12月の休館日
6日(月)
13日(月)
20日(月)
22日(水)
27日(月)
詳しくは当館までお尋ね下さい。

旧石器時代の住居跡



上からみた竪穴住居のようす



縄文時代になると幾つかの家族が集まって、村づくりが進み、定住生活が始まるとされています。今回水迫遺跡で見つかった集落跡は、「村」のはじまりを探る上で、とても貴重な発見です。いittai、指宿では、いつごろからどんな村が作られたのでしょうか。人々はどんな暮らしをしていたのでしょうか。その手掛かりが水迫遺跡にはあります。

大発見、大昔の集落 COCCOだより

1月号

お問い合わせ
23-5100

発掘調査の進む水迫遺跡から、約一万五千年前の旧石器時代の集落が発見されました。2軒の竪穴住居に、小さな道、無数の柱の痕跡、これほどたくさんのは国内では初めてのことです。

旧石器時代は、縄文時代よりも古い時代で、まだ、土器が発明されていない頃。人々は、食糧（動物や植物）を求めて、キャンプのような移動生活をしていたと言われています。

ななめから見た竪穴住居イラスト



『南九州縄文文化の源流を探る』

どき! かごしま縄文 どき! さきがけ展 新発見

お正月は
COCO
はしむれへ

水迫遺跡の出土品を速報展示!
九州各地の約1万年前の縄文土器を
一堂に紹介します。

会場: COCCOはしむれ2階特別展示室 入場料: 常設展示入場料でご覧いただけます。

平成11年12月28日(火)~平成12年1月23日(日)

わたしは勾玉

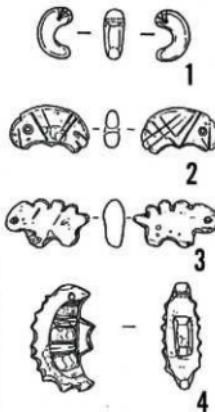
ミュージアムディーチャー 小原家達

わたしの名前は「勾玉」です。丸玉や管玉も仲間です。第二・第四展示室に縄文・弥生・古墳時代の装飾品として登場しています。

勾玉はすでに石器時代に見られます。

勾玉ってどんな形をしているのでしょうか。石器時代は頭尾が同じ大きさの半月形で硬玉製(こうぎょくせい)です。縄文時代になると獸形勾玉(じゅうけいまたま)や輪形勾玉(くわいあてたま)もあり、材質は硬玉や翡翠(ひすい)、蛇文岩です。弥生時代から古墳時代になると頭が大きく尾が細く凹凸曲線に変化(へんか)したまま(たま)になっています。古墳時代以降は、次第に形式化され、まるごとのみが強調されています。

古代人は、墓の中まで首飾りや腕輪、耳飾りや髪飾りを身につけています。生命が終わっても身体から離れない古代人のアクセサリー。



1. 2 獣形勾玉
2. 3 丁字頭勾玉
3. 4 子持勾玉

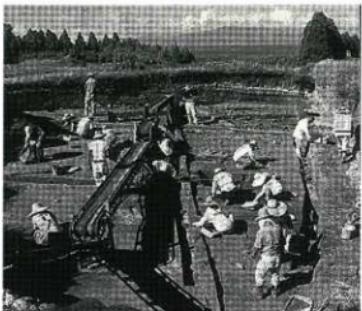
1月の休館日
4日(火)
11日(火)
17日(月)
24日(月)
26日(水)
31日(月)
詳しくは当館まで お尋ね下さい。

レスもあります。人々は、勾玉にどんな願いを託したのでしょうか。命を育む大自然の力(山・川・雨・風)は、人間の力をはるかに越えています。この大自然の力を調節したり、自分の中にその力を取り入れようとして、勾玉を身につけたのでしょうか。勾玉には「特別な力」があると見え、魔除けやお守りにしたのでしょうか。

ロビーの縄文人は、歯の歯に穴をあけてひもで連ねて首飾りとしています。歯の猛威と同じ威力が身にうつると考えたのでしょうか。

古代人は、墓の中まで首飾りや腕輪、耳飾りや髪飾りを身につけています。生命が終わっても身体から離れない古代人のアクセサリーと言えるのではないでしょうか。

水迫遺跡のミニ展示コーナー設置



水迫遺跡発掘調査風景

3月末まで調査を続けます。

COCICO はしむれの常設展示に水迫遺跡のミニ展示コーナーを設置しました。約一万五千年前の旧石器時代の人々が使っていた石器や集落のようす、その他の縄文時代、水迫遺跡に住んだ人々が使っていた土器などを紹介しています。また、鹿児島市の黎明館にも特設コーナーが設置され、こちらは二月四日からの公開です。ぜひ、ご覧ください。

指宿市考古博物館「時遊館COCCO はしむれ」お知らせ版
COCICO だより

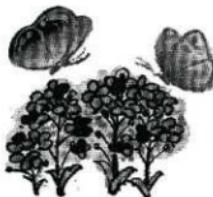
2月号

お問い合わせ
23-5100

美術グループ

いでゆ会

第25回
作品展



時遊館 COCCO はしむれ 2階特別展示室におきまして、いでゆ会の絵画展を開催いたします。絵画・彫塑・陶芸作品の力作の数々が展示されます。入場は無料です。みなさまのお越しをお待ちしております。開催期間 2月8日(火)~13日(日)

2月の休館日

- 7日(月)
 - 14日(月)
 - 21日(月)
 - 23日(水)
 - 28日(月)
- 詳しくは当館までお尋ね下さい。

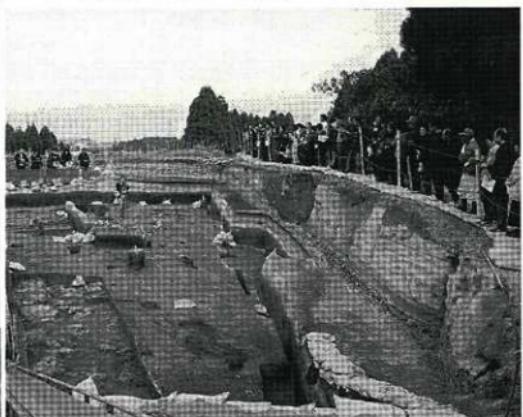
「市民講座 手芸」

トールペイント作品展示

期間2月1日(火)~13日(日)
会場 COCCO はしむれ 1階ロビー



古代のロマンふたたび



水迫遺跡2回目の説明会に
市内外からの見学者訪れる

COCCOだより
3月号

お問い合わせ
23-5100

去る一月十三日(日)、水迫
遺跡の2回目の見学会が開催さ
れました。市内外から約三百五
十人の見学者が遺跡を訪れ、古
代に思いをはせる小春日和の一
日を楽しめました。今年度の
水迫遺跡の発掘調査は3月末日
まで実施されます。



Q. どうして、ここに遺跡があるこ
とがわかったのですか?

A. 平成5年に、水迫地区の畑の中に土
器や石器が落ちていないかどうかを調べ
る分布調査が行われました。畑を耕すと
きに古代の地層まで掘ることがあるから
です。その結果、弥生時代の土器のかけ
らが発見され、地下に遺跡があることが
予想されました。

Q. どうして、発掘調査が始まつた
のですか?

A. 遺跡があると予想されている土地に
工事などが計画されると、文化財保護法
という法律に基づいて、工事が始まる前
に遺跡の内容を調べる必要があります。
水迫遺跡周辺では、道路工事の計画があ
りましたので、工事が始まる事前に遺跡
の調査を実施することになりました。

水迫遺跡の地層

現代の地層
池田湖カルデラの火山灰 (約5500年前)
黒色の地層
鬼界カルデラ(屋久島付近の海底火山) の火山灰(約6400年前)
約1万年前の地層(縄文時代の土器出土)
サツマ火山灰が混ざった地層(約11400年前)
旧石器時代(縄文時代の前の時代)の集落が見つかった地層
清見岳の火山灰(約4~5万年前)

Q. どうして水迫遺跡の集落は一万五千年前のものだということがわかったのですか?

A. 古代の南九州は火山活動が活発で、水迫遺跡にもたくさん火山灰が積もっています。桜島が最初に噴火した時の火山灰は、「サツマ火山灰」という名前がついていますが、この噴火の年代が科学的な方法で約一万一千四百年前と推定されています。水迫遺跡の集落は、この火山灰の下の地層から見つかり、少なくとも一万一千四百年前と言われていることから、集落の年代を推定することができました。

第7回

あざみ展 (油絵・水彩画)

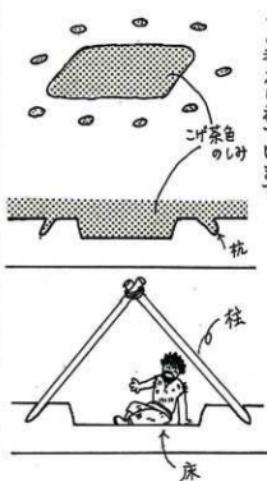


絵画グループあざみの会の作品展が開催されます。入場は無料です。是非、おいでください。

期間 3月12日(日) ~

3月20日(月)

会場 2階特別展示室



Q. どうして住居の跡だとわかったのですか?

A. 清見岳の火山灰の上まで掘り下げた時、四角い形のこげ茶色の地層の染みを見つけました。その周りには、直径五センチくらいのこげ茶色の丸い地層の染みがめぐっていました。こげ茶色の地層を掘ってみたところ、四角の部分は浅く窪むことが分かり、窪んだ面は平坦になっていました。また、丸い染みの断面を確かめたところ、尖った杭のようなものを斜めに打ち込んだ跡であることが分かりました。このことから、竪穴式の住居であると考えられています。

3月の休館日

- 6日(月)
 - 13日(月)
 - 21日(火)
 - 22日(水)
 - 27日(月)
- 詳しくは当館までお尋ね下さい。



期間 3月二十三日(木) ~ 三月二十八日(火)
会場 二階特別展示室
入場は無料です。是非、おいでください。

福山勝美の傘寿
金婚記念油絵展

(11) 学芸員研究活動

論文等

下山覚・鎌田洋昭「水迫式土器の型式設定—南部九州の墳墓文土器から貝殻文系円筒形土器への土器型式の変化について—」『ドキ！どき！新発見 かごしま縄文さきがけ展—南九州縄文化の源流を探る—』企画展示図録 第6回指宿市考古博物館・時遊館COCCOはしむれ 1999.12.28

中摩浩太郎「住居形態から見た南部九州縄文時代の開始期について」同上

渡部徹也「貝殻文系円筒形土器成立前後の土器に関する情報交流—南九州の列点文を施す土器の評価をめぐって—」同上

鎌田洋昭「転地遺跡における転地型石巣について—出土と展開についての展望—」同上

渡部徹也「南九州における道路遺構研究の動向と火山灰による埋没道路について」『考古学ジャーナル』No.449 1999.9

渡部徹也「コラム 「隼人」前後の水田と壇—南部九州の田壇事例一」『歴史九州』4月号1999.4

渡部徹也「コラム 「災害」から見た道路遺構研究の視点」『歴史九州』8月号1999.8

下山覚・中摩浩太郎・渡部徹也・鎌田洋昭「鹿児島県指宿市弥次ヶ湯古墳について（調査速報）—日本最南端の古墳の発見」『人類史研究』第11号1999.5

下山覚「災害遺跡は何を語るか5」『歴史九州』4月号1999.4

下山覚「災害遺跡は何を語るか6」『歴史九州』5月号1999.5

下山覚「災害遺跡は何を語るか7」『歴史九州』6月号1999.6

下山覚「災害遺跡は何を語るか8」『歴史九州』7月号1999.7

下山覚「災害遺跡は何を語るか9」『歴史九州』8月号1999.8

下山覚「災害遺跡は何を語るか10」『歴史九州』9月号1999.9

下山覚「災害遺跡は何を語るか11」『歴史九州』10月号1999.10

下山覚「災害遺跡は何を語るか12」『歴史九州』11月号1999.11

研究発表等

下山覚・中摩浩太郎・渡部徹也・鎌田洋昭「鹿児島県指宿市弥次ヶ湯古墳について（調査速報）—日本最南端の古墳の発見」『人類史研究』1999.6

◆後援・共催・協賛事業の部

(12) 友の会の発足

平成11年4月1日に、時遊館COCCOはしむれ友の会が発足した。以下、友の会の会則、活動概要について記す。

COCCOはしむれ友の会会規

(会の目的)

1. COCCOはしむれ友の会（以下「友の会」と表記する）は、指宿市考古博物館時遊館COCCOはしむれを中心としたさまざまな学習活動、ボランティア活動を通じ、指宿市の歴史と文化を学び、会員の自己研鑽を行なう。同時に地域における歴史・文化学習のネットワークを形成し、会員相互の交流を深める事を目的とする。

(会員)

2. 友の会は、会結成の目的に賛同し、会費を納めるもので構成する。

(会の活動)

3. 友の会は以下に定める活動を行なう。

(1) 指宿市考古博物館時遊館COCCOはしむれで主催する講座等の事業への参加。

(2) 指宿市考古博物館時遊館COCCOはしむれの支援活動。

(3) 定期的な自主学習活動（遺跡見学会、勉強会等）。

(4) その他本会の目的に必要な事業。

(組織)

4. 友の会の役員は、下記の組織で構成する。

会長 1名

副会長 1名

事務局 総務 1名、会計 1名

監査 1名

5. 友の会の役員は、会員の互選で決定し任期を2年とする。また、再任を妨げない。

(会費)

6. 友の会の会費は、年間1,000円とする。

(事務局)

7. 友の会の事務局は、指宿市考古博物館時遊館COCOはしまれ内に置く。

(その他)

8. この会規は、平成11年4月1日から発効するものとする。

活動内容

- 4月17日（土） 土器づくり
- 4月24日（土） 総会・学習会（土器について）
- 5月1日（土） 土器焼き
- 6月13日（土） 第1回歴史セミナー参加
- 7月24日（土） 第2回歴史セミナー参加
- 7月27日、29日、8月1日 勾玉づくりボラティア
- 8月10日・11日 古代にチャレンジボランティア参加
- 9月25日（土） 第3回歴史セミナー参加
- 10月23日（土） 遺跡見学会 岩本遺跡・水迫遺跡・鹿児島市ふるさと考古歴史館見学
- 11月6日（土） 第4回歴史セミナー参加
- 12月5日（土） 土器づくり
- 12月17日（土） 土器焼き いのしし鍋体験
- 12月29日（土） 水迫遺跡現地見学会ボランティア
- 1月30日（土） 水迫遺跡現地見学会ボランティア
- 2月13日（土） 水迫遺跡現地見学会ボランティア



土器作り体験の様子



土器焼きの様子

(13) 二人展開催

中村昭見氏・高野清納氏による油絵・クレパス画の作品展が開催された。

a. 日時 平成11年11月3日（水）～11月10日（水）

b. 場所 2階特別展示室

(14) 菊の千輪咲展示会

指宿千輪会による菊の千輪仕立ての展示があった。

a. 日時 平成11年11月2日（火）～11月14日（月）

b. 場所 1階ロビー

(15) 「あざみの会」作品発表展示会

指宿市文化協会所属の「あざみの会」の作品発表展示会が行なわれた。

a. 日時 平成12年3月12日（日）～3月20日（月）

b. 主催 あざみの会

c. 出展作品数 洋画52点

d. 場所 2階特別展示室

(16) 山川写楽クラブ写真展

山川写楽クラブによる写真展が開催された。

a. 日時 平成11年11月21日（日）～11月28日（日）

b. 場所 2階特別展示室

(17) いでゆ会発表展示会

指宿市文化協会所属の「いでゆ会」の作品発表展示会が行なわれた。

a. 日時 平成11年2月8日（火）～2月13日（日）

b. 主催 いでゆ会

c. 出展作品数 洋画・陶芸作品58点

d. 出展者数 18名

e. 会場 2階特別展示室

(18) 市民講座手芸生徒によるトールペイント作品展

a. 日時 平成11年2月1日（火）～2月13日（日）

b. 場所 2階特別展示室

◆ 発掘調査の部

(19) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査

国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡は、大正13年に指定を受け、平成8年に追加指定を受けた。本確認調査は、国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡の範囲を確認すると同時に、市内の重要遺跡について把握するため、平成4年度から継続的に実施されている発掘調査である。今年度は国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡の北西近接地、敷領遺跡、殿様湯跡に調査トレチを設定し、遺跡の範囲とその内容を確認した。

a. 実施期間 平成11年7月1日～平成12年3月31日

b. 調査の概要

①橋牟礼川遺跡

国指定史跡から北西約300mの地点に5.5×6.5mのトレチを設定した。橋牟礼川遺跡同様、開聞岳火山灰、奈良～平安時代の包含層を確認した。西暦874年3月25日に噴出した開聞岳の火山灰の直下から、平安時代の畠（畠）や小道を確認し、遺跡の広がりを把握できた。

②敷領遺跡

敷領遺跡は、指宿市十町小字敷領周辺に広がる弥生時代から平安時代にかけての複合遺跡で国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡の北北西約2kmの地点に位置する。敷領遺跡の調査は、平成7年度に実施した遺跡範囲確認調査に始まる。6トレチを設定し、確認調査を実施したところ、開聞岳火山灰の直下から水田遺構が検出された。また、平成10年度の公営団地建設事業に伴う発掘調査では、円墳が発見され注目された。今回、T字状にトレチを設定し、合計面積30m²について確認調査を実施した。その結果、平成7年度に引き続き、火山灰の下から水田が、水田遺構の下の土層から、奈良～平安時代の柱穴群が検出され、遺跡の広がりが確認された。

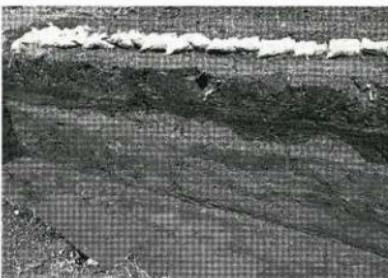
③殿様湯跡

殿様湯跡は指宿市西方二月田に所在する史跡である。天保2年、第27代薩摩藩主島津齊典が行館を設置した場所として知られ、現在、石造りの浴槽のみが現存している。

今回、浴槽の周辺に1箇所トレーニングを設定し、建物跡等の確認を試みたが、残念ながら検出にはいたらなかった。



橋幸礼川遺跡発掘調査地点



敷地遺跡発掘調査地点（水田層の状況）



殿様湯跡全景



岩本遺跡発掘調査現場

(20) 県営広域農道事業に伴う水迫遺跡発掘調査

①水迫遺跡発掘調査

a. 実施期間 平成11年5月25日～平成12年3月31日

鹿児島県指宿市水迫に所在する水迫遺跡は、標高126mの尾根状の末端に位置している。

平成5年度のサン・オーシャンリゾート開発に伴う鹿児島県文化財課の分布調査によって、周知化された遺跡のひとつである。今年度は農道整備事業予定地内（約1,500m²）の発掘調査を実施した。約320m²の南側の調査地点において、縄文時代早期・縄文時代草創期・後期旧石器時代のナイフ形文化～細石刃文化・ナイフ形石器文化（A T上）・ナイフ形文化（A T下位）の5時期の遺物包含層を確認することが出来た。

南九州の縄文時代草創期後半の「麻袋土器」と、南九州の縄文時代早期の貝殻文円筒形土器の最古段階として考えられている「岩本式土器」とを補完する新型式の土器として水迫式土器の型式設定が行われた。水迫遺跡では、第5・6層から岩本式土器が、その下層の第7層から水迫式土器が層位学的に出土している。

さらに、小形なナイフ形石器と細石刃・細石刃核が出土する第9層を埋土とした遺構を、基盤層である第1・4層上面で検出できた。遺構は、住居跡2基、ピット群、道路で構成されている。また、住居跡の西側隣接地においては形なナイフ形石器と細石刃・細石刃核がまとまって出土した。

②小牧地区確認調査

a. 実施期間 平成12年3月10日～平成12年3月31日

③西多羅ヶ迫遺跡では3・4トレンチにおいて遺物包含層と遺構を検出できた。

④多羅ヶ迫遺跡では2・3・4トレンチにおいて遺構、遺物包含層を確認できた。

⑤土受喜遺跡では西多羅ヶ迫遺跡・多羅ヶ迫遺跡と同様な遺物包含層はあったが遺物は出土しなかった。

(21) NTT携帯電話電波塔建設に伴う岩本遺跡発掘調査

a. 実施期間 平成11年10月13日～平成11年12月29日

b. 調査の概要

平成11年度における岩本遺跡の埋蔵文化財発掘調査は、エヌ・ティ・ティ九州移動通信網株式会社による無線鉄塔建設計画が原因となって行われた。

岩本遺跡は、指宿市岩本周辺に広がる旧石器時代から弥生時代にかけての複合遺跡である。

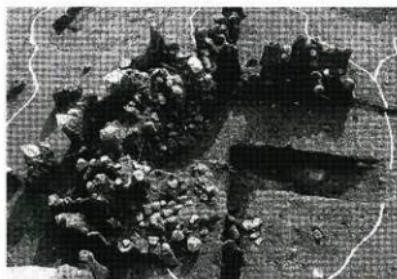
遺跡は、指宿市北部の海岸段丘上に広がる標高50m前後の台地上に所在する。岩本遺跡の立地する台地の周辺には、小牧ⅢA遺跡、露重遺跡など、縄文時代初頭から旧石器時代にかけての重要な遺跡が集中する地域である。岩本遺跡は昭和52年の農業基盤整備に伴って埋蔵文化財発掘調査が実施されている。この際、縄文時代早期初頭の「岩本式土器」の型式設定が行われ、標識遺跡として知られている（指宿市教育委員会、1977）。今回の調査地点は、岩本遺跡の最北部に当たり、先の発掘調査において調査対象外となっていた地点であった。

調査地点は標高51mの地点に位置し、北側に海食崖の絶壁を控えている。岩本遺跡等が立地する台地は、今回の調査地点を北端として海岸部に突き出した形状を成し、北側の海岸線とは比高約50mを測る。現在海岸線には、国道226号線とJR指宿枕崎線が走り、この東には今和泉集落が所在する。一方、調査地西侧には、侵食により形成された狭い谷を挟み、小牧ⅢA遺跡に至る台地が連続し、調査区南側・東側にも同様の台地が広がっている。調査地点南側には、標高292mの高江山や、阿多カルデラ外輪山の一角を成す標高306mの鬼門平などの山塊が所在する。

今回の調査時点においては、同時に調査が進行しつつあった指宿市内の水迫遺跡において、陸帯文土器と貝殻文系円筒形土器との型式を接続する「水迫式土器」が発見され公表されていた（下山他 1999）。今回の調査地点は、試掘調査の段階において良好な水平堆積層が確認されるとともに、縄文時代早期から草創期該当期の層位が見られたことから、水迫式土器→岩本式土器という層位的変遷の追認を含めた調査成果が期待されるとともに、縄文時代早期包含層から集石遺構や、AT上面で袋状の土壤が検出されるなどの新知見がもたらされた。



調査風景



集石検出状況

◆文化財保護管理の部

(22) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡買上事業

- a. 目的 平成7年度に国指定史跡に追加指定された指定地の追加購入を行い、史跡の保存と活用に資する。
- b. 内容 追加指定地18,636.59m²のうち、123m²を購入する。文化庁と鹿児島県の補助事業である。

(23) 水追遺跡現地見学会

- a. 目的 水追遺跡の発掘調査成果を広く一般に公開し、埋蔵文化財への理解と関心を喚起する。
- b. 期日 12月29日 1200名、 2月13日 300名



見学会の様子①



見学会の様子②

◆ 刊行物の部

(26)『ドキ！ドキ！新発見 かごしま縄文さきがけ展—南九州縄文文化の源流を探る—』展示回録

水追遺跡の調査速報と合わせて回録を作成した。先に記した学芸員の論文に加え、新東晃一氏「南九州縄文早期文化の成立の諸要因」、永野達郎氏「南九州における縄文時代草創期から早期の文化の様相について—新発見の遺跡と帖地遺跡の位置づけをめぐって—」の2本の論文を掲載した。

(27) 重要遺跡範囲確認調査発掘調査報告書

平成5年度から継続実施している橋牟礼川遺跡周辺の遺跡範囲確認調査の内、平成11年度に行った国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡の北西近接地、敷領遺跡、殿様湯跡の発掘調査報告書を刊行、遺跡の記録保存を行った。

(28) 岩本遺跡発掘調査発掘調査報告書

平成11年度、エヌ・ティ・ティ九州移動通信網株式会社による無線鉄塔建設計画が原因となって行われた岩本遺跡の発掘調査報告書を刊行、遺跡の記録保存を行った。

1. 事業概要

平成12年度に実施した主な事業は以下の通りである。

◆博物館事業の部

- (1) ゴールデンウイークリーイベント
- (2) 歴史セミナー（全4回）
- (3) 古代にチャレンジ（古代体験学習）
- (4) 企画展『水迫遺跡からのメッセージ展』
- (5) いぶすきシルバー美術展
- (6) 博物館資料保存・修復活動
- (7) 博物館教育・普及活動（ミュージアムティーチャー会による解説活動）
- (8) ミュージアムティーチャー研修会
- (9) 博物館実習生受け入れ
- (10) 『COCICOだより』の発刊
- (11) 学芸員研究活動

◆後援・共催・協賛事業の部

- (12) 時遊館COCICOはしむれ友の会活動支援
- (13) 親しむ博物館づくり事業「体験！はしむれ学園」
- (14) 押し花展
- (15) 菊の千輪咲展示会
- (16) あざみの会発表展(油絵・水彩画)
- (17) いでゆ会作品展

◆発掘調査の部

- (18) 水迫遺跡総合調査
- (19) 岐阜広域農道事業に伴う水迫遺跡発掘調査

◆文化財保護管理の部

- (20) 国指定史跡指宿橋半礼川遺跡買上事業
- (21) 国指定史跡指宿橋半礼川遺跡管理
- (22) 市指定文化財管理

◆刊行・編集書籍等

- (23)『水迫遺跡からのメッセージ』展示図録
- (24) 水迫遺跡総合調査報告書

2. 各事業の実績と展開

以下、主な事業についてその概要を記す。

◆博物館事業の部

- (1) ゴールデンウイークリーイベント
 - ①体験！まがたまアクセサリーづくり
 - a. 日時 平成11年5月3日～7日
 - 午前10:30～12:00、午後1:00～4:00
 - b. 場所 時遊館COCICOはしむれ1階講堂
 - c. 参加 253名
- ②特別セミナー「水迫遺跡のロマン」
 - a. 日時 平成11年5月3日～5日 午後1:00～4:30
 - b. 場所 時遊館COCICOはしむれ第3展示室、水迫遺跡
 - c. 内容 学芸員による水迫遺跡についての講座と現地見学
 - d. 参加 156名

③はしむれ名画劇場

a. 日時 平成11年5月3日～7日 午後15:00～17:00

b. 場所 歴史劇場

c. 内容 5月3日 ある夜の出来事

5月4日 すばらしき哉人生

5月5日 ピノキオの冒険

まんがイソップ物語

5月5日 禁じられた遊び

5月7日 自転車泥棒

④はしまれ親子スケッチ大会

a. 日時 平成11年5月3日 午前9:00～

b. 場所 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡

c. 内容 史跡地内にある復元古代住居等をスケッチ、作品を1階ロビーに展示した。

d. 参加 156名

(2) 歴史セミナー（全4回）

a. 目的 博物館に関わりのある自然・歴史分野について広く教養を深め、合わせて、博物館の利用促進をはかる。セミナーは生涯学習講座の一環として位置付け、講座生を募集して参加を募るとともに、一般聴講者も参加できるものとした。

b. 日時・題目等

第1回 平成12年7月1日（土）午後1:30～午後3:00

講師：宮田栄二（鹿児島県立埋蔵文化財センター）

演題 「鹿児島の旧石器時代」

第2回 平成12年7月15日（土）午後1:30～午後3:00

講師：柴田博子（宮崎産業経営大学）

演題 「墨書き土器と南九州」 ※宮崎産業経営大学法医学部公開講座と共に催

第3回 平成12年8月26日（土）午後1:30～午後3:00

講師：甲元眞之（熊本大学）

演題 「東アジアと考古学」

第4回 平成12年9月23日（土）午後1:30～午後3:00

講師：宮下貴浩（金峰町教育委員会）

演題 「万之瀬川から見える南九州の海外交易」

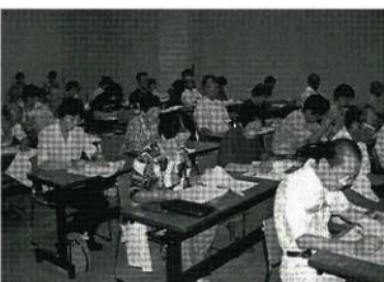
c. 場所 1階講堂・歴史劇場

d. 主催 指宿市教育委員会

e. 参加 第1回 32名 第2回 52名 第3回 46名 第4回 40名



セミナーの様子①



セミナーの様子②

(3) 古代にチャレンジ(古代住居宿泊体験)

a. 目的 古代の歴史・文化を素材にした体験学習や古代住居での宿泊体験などを通じて、地域の歴史や文化についての学習を深める。

b. 日時 平成12年8月2日(水)午前9時～3日(木)午前9時まで

c. 場所 時遊館 COCCCO はしむれ、国指定史跡指宿横牛札川遺跡、知林ヶ島

d. 体験学習の概要

①知林ヶ島での古代釣り体験

麻紐、石錐等を使った古墳時代の釣りの方法を再現し、釣りを体験する。

②勾玉作り

勾玉について出土資料にもとづき学習し、粘土で勾玉を作る。

③古代人からのメッセージ

古代を題材にしたゲームや講話で、鹿児島の古代について学習する。

e. 参加 県内小5～中2年生計27名、指導者（社会教育課職員）

9名 友の会10名



体験活動の様子①



体験活動の様子①

(4) 企画展『水迫遺跡からのメッセージ』

a. 目的 日本最古級の集落として注目を集めている水迫遺跡について、最新の成果とデータを用いながら当時の集落の様子や暮らしをわかりやすく紹介し、指宿の歴史や古代の文化について関心と理解を促す一助とする。

b. 主催 指宿市教育委員会

c. 開催期間 平成12年12月23日（土）～平成13年2月1日（水）

d. 開催場所 2階特別展示室

e. 展示ストーリー

水迫遺跡の発見は、日本の旧石器時代観を揺るがす発見となった。移動生活を繰り返していた旧石器時代。その生活痕跡は全国的にも発見例が少なく集落の実態についてはほとんど判ってなかった。しかし、水迫遺跡から2軒の竪穴建物跡、道の跡、炉の跡、石器づくりの場、無数の杭の跡などが発見され、集落の具体像が明らかになりつつある。今回の企画展示では、それぞれの生活痕跡の発見と解明の過程を丁寧に追いかけ、集落の全容を紹介する。また、同じ時代の全国の遺跡と比較しながら、水迫遺跡の特徴を浮き彫りにする。さらに世界の旧石器時代研究の中での、水迫遺跡の位置付けと遺跡が問いかける課題について提示する。

f. 入場者数 1,103名



展示の様子①



展示の様子②

(5) いぶすきシルバー美術展

鹿児島県内在住の60歳以上の方々の絵画作品を公募し、一堂に展示するユニークな美術展である。創作活動の一環として、また、芸術文化の振興に寄与することを目的として平成2年度から開催しており、今年度で第11回目を迎える。

- a. 日時 平成12年8月6日(日)～20日(日)
- b. 主催 指宿市・指宿市教育委員会・指宿市文化協会
- c. 出展作品数 253点(市内41点・市外212点)
- d. 出展者数 186名(市内27名・市外159名)
- e. 最高齢者 87歳(指宿市)
- f. 平均年齢 71.5歳
- g. 年齢別構成 60歳代 71名
70歳代 94名
80歳代 21名
90歳代 0名
- h. 出展作品種別 洋画 164点
水彩画 14点
日本画 25点
水墨画 24点
ちぎり絵 24点
版画 2点



会場の様子

- i. 入場者数 3767名

(6) 博物館資料保存・修復活動(実物資料・書籍・写真等)

- a. 目的 博物館の基幹をなす事業の一つとして、資料の保存・修復活動を実施した。
- b. 場所 復元作業室・燃蒸室
- c. 内容 今年度は、指宿市指定文化財である木造観音立像3体の観音堂補修に伴い同観音像3体の燃蒸作業を実施した。燃蒸作業は、殺かび、殺虫を期して行なった。燃蒸作業の完了後は、現地の観音堂へ収納した。また、発掘調査によって出土した遺物の復元・整理作業を行った。
- d. 燃蒸実施実績
 - 平成12年7月1日～7月2日 木造観音立像3体
 - 平成12年7月12日～7月13日 木造観音立像3体

(7) 博物館教育・普及活動(ミュージアムティーチャー会による解説活動)

- a. 目的 博物館の教育普及活動の最も基礎的な業務の一つである常設展示の案内・解説について、恒常的な情報の提供、教育普及効果の向上を目的にミュージアムティーチャー制度を導入した。安定したサービスの供給に向けて、MT会に委託することによって成立している。
- b. 内容 ミュージアムティーチャーの組織は下記のとおりである。
 - ミュージアムティーチャー3名 案内・解説業務
 - アシスタントティーチャー3名 受付・もぎり業務、および案内・解説業務の補助
- c. 成果 ミュージアムティーチャーの解説活動については、来館者から、「丁寧な説明・案内があって分かりやすい。」というような評価が多い。今後も継続して恒常的に案内・解説業務の提供を行っていくことが必要である。なお、今年度は学習支援業務、サービス業務の視点からMT会より研究論文を寄稿していただいた。

(8) ミュージアムティーチャー研修会

- a. 目的 研修会を通じて、ミュージアムティーチャーやアシスタントティーチャーの資質を向上し、博物館において、より高い質のサービスを提供することを期する。
- b. 場所 歴史劇場研修室
- c. 内容 全6回の研修会を実施した。
 - 第1回 4月26日(水) 体験学習プログラムの充実について
 - 第2回 5月24日(水) 指宿市内遺跡見学
 - 第3回 6月28日(水) 古代の衣について・あんぎん織実習
 - 第4回 7月26日(水) 石器づくり体験・石器の体験学習キットについて

- 第5回 8月23日(水) 土器づくり体験・施文方法の具体について
 第6回 9月27日(水) 水道遺跡現地見学
 第7回 10月25日(木) 学習支援の実践と課題について(1)
 第8回 12月27日(水) 企画展内容研修
 第9回 1月24日(水) 学習支援の実践と課題について(2)
 第10回 3月28日(水) 本年度の反省平成13年度の研修計画検討

(9) 博物館実習生の受け入れ

平成8年度より博物館実習生の受け入れを実施している。平成12年度は、3名の実習生を受け入れた。

a. 期間: 平成12年7月26日(木)~8月12日(金)

b. 実習生: 九州東海大学1名、志学館大学1名、茨城大学1名

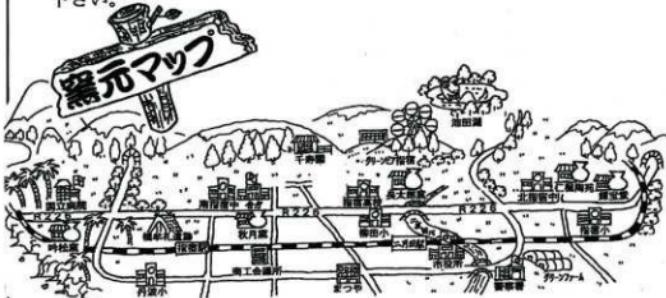
c. 博物館実習内容

平成12年度博物館実習計画

日付	曜日	受入人	実習人	8:50~10:10	10:40~12:00	13:00~14:20	14:50~16:20	担当
26日	水	●		教育委員会訪問 オリエンテーション (歴史・総合) (中堅・M)	M.T研修会参加 (あんざん組み) (中堅・M)	柏原市の文化財修復 について (小村)	博物館事業運営 について (中堅)	中堅
27日	木	●		博物館施設案内 (中堅)	受付・接客業務実習 (M-T・AT)	展示解説業務実習 (M-T・AT)	展示解説業務実習 (M-T・AT)	HT
28日	金	●		博物館資料整理作業 (下山・中堅)	博物館資料整理作業 (下山・中堅)	シルバー会議室 搬入受付実習 (寺田)	シルバー会議室 搬入受付実習 (寺田)	下山
29日	土	●		シルバー会議室 搬入受付実習 (寺田)	シルバー会議室 搬入受付実習 (寺田)	シルバー会議室 搬入受付実習 (寺田)	シルバー会議室 搬入受付実習 (寺田)	寺田
8月 1日	火	●		博物館企画展準備 立案実習 (下山・中堅)	博物館企画展準備 立案実習 (下山・中堅)	博物館企画展外 立案実習 (下山・中堅)	古代にチャレンジ 体験学習準備 (中堅)	下山
2日	水	●		古代にチャレンジ 体験学習実習 (総合・中堅)	古代にチャレンジ 体験学習実習 (総合・中堅)	古代にチャレンジ 体験学習実習 (総合・中堅)	古代にチャレンジ 体験学習実習 (総合・中堅)	中堅
3日	木	●		ワークシート作成 実習 (総合)	ワークシート作成 実習 (総合)	水道遺跡発掘調査 体験実習 (総合)	水道遺跡発掘調査 体験実習 (総合)	総合
4日	金	●		シルバー会議室 作品展示準備 (寺田)	シルバー会議室 作品展示準備 (寺田)	シルバー会議室 作品展示準備 (寺田)	千歳市子供会 古代勾玉づくり事務 (中堅)	中堅
5日	土	●		千歳市子供会 古代勾玉づくり (文化祭)	シルバー会議室 作品展示実習 (寺田)	受付・接客業務実習 (M-T)	展示解説業務実習 (M-T・AT)	寺田
8日	火	●	●	教育委員会訪問 (歴史・実) オリエンテーション (歴史・総合)	(歴史) 計画のまとめ (歴史・実) 柏原市文化行政 (下山)	柏原市文化行政としての 今後の展望 (下山)	(歴史) 計画のまとめ (歴史・実) 柏原市文化行政 (小村)	下山
9日	水	●	●	博物館事業運営 (中堅)	受付・接客業務実習 (M-T・AT)	展示解説業務実習 (M-T・AT)	展示解説業務実習 (M-T・AT)	HT
10日	木	●	●	博物館企画展示 立案実習 (下山・中堅)	博物館企画展示 立案実習 (下山・中堅)	博物館企画展示 立案実習 (下山・中堅)	博物館企画展示 立案実習 (下山・中堅)	中堅
11日	金	●	●	「体験! はじめ学園」 (実施調査) (文化祭)	「体験! はじめ学園」 (実施調査) (文化祭)	「体験! はじめ学園」 (実施調査) (文化祭)	「体験! はじめ学園」 (実施調査) (文化祭)	総合
12日	土	●	●	ワークシート作成 実習 (総合)	ワークシート作成 実習 (総合)	展示解説業務実習 (M-T・AT)	実習のまとめ (総合)	総合

いぶすき黒元めぐり

第6回いぶすき黒元めぐりが4月28日～5月14日の日程で開催されます。各黒元付近にある「いぶすき黒元会のぼり」を目印にお越しください。詳しくは0993-24-2427「いぶすき黒元会」までお問い合わせ下さい。



COCCO だより
コ
コ
指宿市考古博物館「時遊館 COCCO はしむれ」お知らせ版
4月号

お問い合わせ
23-5100

COCCO はしむれ喫茶テナント 募集のお知らせ

指宿市教育委員会では、時遊館 COCCO はしむれ喫茶部門のテナント募集のための説明会を開催します。詳細は下記のとおりです。

1. 日時 平成12年4月7日(金)
午前10時～
2. 会場 COCCO はしむれ1階講堂
3. 業務内容
喫茶の経営ならびに物品の販売
4. 費用負担
賃料・光熱水費、その他、設備投資・物品購入等にかかる経費
5. 応募資格
博物館の趣旨に適した経営ができる個人または団体

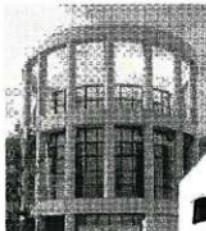
指宿高校生涯学習県民大学 書道・教養講座 受講生募集

指宿高校では、県民大学書道・教養講座の受講生を募集します。内容・申込方法は、下記の通りです。

- 申込方法 はがきに住所・氏名・年齢・生年月日・電話番号・公民館名を記入し下記住所にお送り下さい。また、電話での申込は、本人が直接指宿高校事務室窓口へご連絡下さい。
 - 申込締切 4月末日
 - 講座期間 平成12年5月20日～
12月16日、主に第1・3土曜日の計17回
時間帯 13:30～15:30
 - 定員 40名(定員で締め切ります)
 - 受講対象者 一般成人
 - 場所 指宿高校書道室
 - 諸経費 3000円程度
- 詳しくは、22-3535 指宿高校生涯学習県民大学受講者受付係までお問い合わせ下さい

**COCCO はしむれ友の会
会員募集のお知らせ**

COCCO はしむれ友の会では会員を募集しています。土器焼き体験や遺跡見学など指宿の古代の歴史に楽しく触れてみませんか。詳しくは COCCO はしむれ文化係までお尋ね下さい。



ヨーレンウェークイント

お知らせ

ヨーレンウェーク
特別セミナー『日本最古の集落の起源を探る
水迫遺跡のロマン』

	日 時	セミナーテーマ
第1回	5/3 13:00~	水迫遺跡のくらしをさぐる
第2回	5/4 13:00~	水迫遺跡の住居のなぞ
第3回	5/5 13:00~	旧石器時代から縄文時代へ

あ
そ
び
に
来
て
!!



4/30



火おこし・古代石蒸し料理教室
はしむれ親子スケッチ大会

参加無料 先着100名様まで用紙は準備します。絵の具・筆等はご持参のうえご参加ください。

作品は5月末まで博物館ロビーで展示いたします。受付9時からロビーで
入賞者のみなさまには賞品があります。ご家族でお楽しみください。 雨天の場合中止

4月の休館日
3日（月）
10日（月）
17日（月）
24日（月）
26日（水）
詳しくは当館まで
お尋ね下さい。

はしむれ名画劇場

会場 1階歴史劇場

日	時 間	作 品 名	日	時 間	作 品 名
5/3	午後3時から	ある夜の出来事（アメリカ映画）	5/6	午後3時から	禁じられた遊び（フランス映画）
5/4	午後3時から	すばらしき俄人生（アメリカ映画）	5/7	午後3時から	自転車泥棒（イタリア映画）
5/5	午前11時 午後2時から	ピノキオの冒険 まんがソップ物語			※入場料 入館料でご覧になります。

★まが玉アクセサリーづくり 5月3日(水)~7日(日) 参加料 入館料+100円
★インターネット体験コーナー(参加無料)

ゴールデンウイークリベント

未公開写真と最新データ、さらに発掘調査担当者のユニークな解説で水迫遺跡を徹底解剖！是非、ご参加ください。（会場：2階第3展示室）

特別セミナー『水迫遺跡のロマン』

5月3日（水）	13:00～	『水迫遺跡のくらしを探る』
5月4日（木）	13:00～	『水迫遺跡の住居のなぞ』
5月5日（金）	13:00～	『旧石器時代から縄文時代へ』

指宿市考古博物館「時遊館COCCO はしむれ」お知らせ版

5月号

お問い合わせ
23-5100

はしむれ
名画劇場

150インチの大型スクリーンで、
往年の名作をもう一度

日	時間	上映作品
5月3日（水）	15:00～	ある夜の出来事
5月4日（木）	15:00～	すばらしき哉人生
5月5日（金）	11:00～ 14:00～	ピノキオの冒険 まんがイソップ物語
5月6日（土）	15:00～	禁じられた遊び
5月7日（日）	15:00～	自転車泥棒

※常設展示入場料でご覧頂けます。

体験！ まが
たりセサリーブル
△ 9

5月3日～7日午前10時～午後3時
陶芸用の粘土で簡単に作れます。見学の間に焼きあがりますので当日お持ち帰りいただけます。

入館料+100円です。

COCCOはしむれ2階カフェ新装オープン

COCCOはしむれ2階のカフェが新装オープンしました。店の名前は、すばり「はしむれ」。

営業は、午前11時から午後4時まで。お気軽に立ち寄りください。



生涯学習講座合同開講式のお知らせ

『まなび』でふれあう南のふるさと

日時 平成12年5月16日(火)

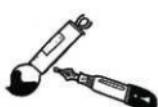
会場 市民会館

受付 13:00~

講演 14:05~

講師 有村佳子さん(指宿ロイヤルホテル代表取締役社長)

演題「素晴らしい人生を送るために」



春 満 開 「押し花展」開催

市民講座生徒作品展

5月の休館日

8日(月)

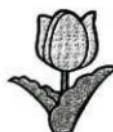
15日(月)

22日(月)

24日(水)

29日(月)

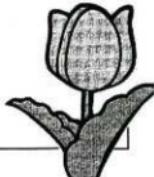
詳しくは当館までお尋ね下さい。



1階ロビーで、市民講座受講生のみなさんの押し花作品展を開催します。

入場は無料です。春の花々をお楽しみください。

期間 平成12年4月27日~5月7日まで



水迫遺跡の発掘調査始まる

約1万5千年前の旧石器時代の集落が見つかった水迫遺跡の発掘調査が5月11日から再開されました。今年度は集落の広がりや内容をさらに詳しく調査する予定です。ゴールデンウィークも大勢の見学者が訪れた水迫遺跡。今後の調査のゆくえに高い関心が寄せられています。



8月頃には
1万5千年
前の旧石器
時代の地層
まで掘り下
がる予定
じゃよ。



指宿市考古博物館「時遊館Cocco はしむれ」お知らせ版

COCO
コ
コ
だより
6月号

お問い合わせ
23-5100

古代にチャレンジ参加者募集!

知林ヶ島での古代釣り体験や
古代住居に宿泊！

時遊館 Cocco はしむれでは、古代に
チャレンジの参加者を募集します。皆さん
のご応募をお待ちしています。

1. 日 時 8月2日(水)午前8時30分
～3日(木)午前9時まで
2. 対 象 県内在住の小中学生30名
(小学5年生以上)
3. 募集期間 6月19日(月)～
7月3日(月)
申込多数の場合は抽選。
4. 応募方法 下記までお電話にてお申し込み
ください。電話23-5100(文化係)
5. 説明会 7月22日(土)午前11時～
6. 参加経費 2000円

第5回子ども会小学生ふ れあいドッジボール大会 のお知らせ

参加申し込みについては、各地区の
子ども会の会長さんまでお願
いします。たくさんの皆さんの参加
をお待ちしております。

日時：6月24日(土)午前9時～

会場：指宿市総合体育馆

参加申込締め切り 6月9日(金)



知林ヶ島での古代釣り体験のようす



作品大募集

第十一回 いぶきシルバー美術展

主催 指宿市・指宿市教育委員会・指宿市文化協会
会場 指宿市考古博物館 時遊館COCCOはしむれ

会期 平成12年8月6日(日)~20日(日)

★お問い合わせ先及び応募要項請求先
指宿市教育委員会社会教育課文化係

Tel 0993-23-5100



平成12年度自主文化事業

「ハンガリー国立民族アンサンブル」指宿公演

日時 平成12年10月19日(木)午後6時30分~

会場 指宿市民会館大ホール

お問い合わせ先 指宿市社会教育課

Tel 0993-23-5100



入場料 大人3,000円 学生1,000円

6月の休館日

- 5日(月)
 - 12日(月)
 - 19日(月)
 - 26日(月)
 - 28日(水)
- 詳しくは当館まで
お尋ね下さい。

してまいります。普及業務になります。今後も様々な機会を通じて、皆様にたくさん情報をお発信してまいります。

してまいります。このうち展示案内は教育普及業務の一つです。5月は、修学旅行のシーズンで、県内外から52校の学校の来館がありました。体験学習の実施や歴史セミナー、企画展示なども教育普及業務になります。今後も様々な機会を通じて、皆様にたくさん情報をお発信してまいります。

COCCOでの仕事 (1)

このミニコーナーでは、COCCOはしむれの業務や役割についてご紹介します。皆様ご承認のようにCOCCOはしむれは「博物館」です。「博物館」の役割には大きく次の3つがあります。教育普及のための業務・貴重な文化財・歴史資料などの収集と保存、そして文化財や歴史の調査研究です。このうち展示案内は教育普及業務の一つです。5月は、修学旅行のシーズンで、県内外から52校の学校の来館がありました。体験学習の実施や歴史セミナー、企画展示なども教育普及業務になります。今後も様々な機会を通じて、皆様にたくさん情報をお発信してまいります。



第11回いはすきシルバー 美術展

会期 平成12年8月6日(日)~20日(日) 会場 時遊館COCCOはしむれ

シルバー美術展は、県内の60歳以上の方々の絵画作品を公募し、一堂に展示するユニークな美術展です。洋画、日本画、水彩画、版画、ちぎり絵などの円熟した作品の数々をご堪能ください。指宿市教育委員会では、作品を募集しています。詳しくは下記事務局までお尋ねください。

事務局 時遊館COCCOはしむれ内
社会教育課文化係 電話 23-5100

指宿市考古博物館「時遊館COCCOはしむれ」お知らせ版
COCCOだより
7月号

お問い合わせ
23-5100

指宿市中高生 ふるさとの集いのお知らせ

美化活動やスポーツを通じて市内の中高生の親睦を図り、心身ともに健康な青少年の育成を目指して「中高生ふるさとの集い」を開催します。多数の参加をお待ちしております。



期日 平成12年8月13日(日)

会場 指宿市総合体育館とその周辺

対象 指宿市内の中高生、育成者、指導者

申込期限 平成12年7月21日(金)

申込場所 社会教育課(COCCOはしむれ内)

活動内容 体育館周辺、付近海岸の美化活動とバレーボール大会

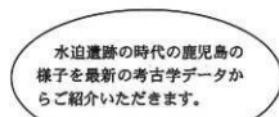
歴史セミナー開催

平成12年度の歴史セミナーが下記の通り開催されます。聴講は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

第1回 7月1日(土) 午後1時30分~3時

演題 「旧石器時代の鹿児島」

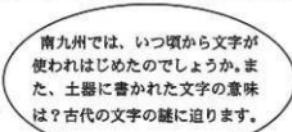
講師 宮田栄二先生(鹿児島県立埋蔵文化財センター)



第2回 7月15日(土) 午後1時30分~3時

演題 「墨書き土器と南九州」

講師 柴田博子先生(宮崎産業経営大学)

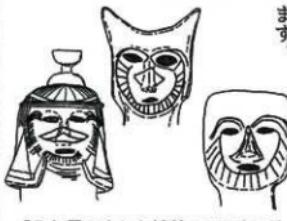


COCCOまんが道場

古代人と入れ墨

縄文時代の人々が入れ墨をしていたという確実な証拠はまだ見つかっていませんが、弥生人は入れ墨をしていたようです。そのこと

にはほぼ限られていたようですが、古墳時代以降は、多くの地域で入れ墨の風習はすたれていったと考えられています。奈良時代に著された『日本書記』には、「ヤマト」からみて僻地の部族や特定の集団の異端の習俗として入れ墨が紹介されています。



「入れ墨?をした埴輪」のいろいろ

水迫遺跡の出土品、全国の巡回展へ

文化庁主催の全国巡回展示会『新発見考古速報展 - 発掘された日本列島 2000 -』に水迫遺跡の出土品が出品されます。

巡回展は、北は北海道、南は宮崎県の全国 7ヶ所の博物館で開催され、全国各地で発見された貴重な遺跡とその出土品が紹介されます。開催地は下記の通りです。詳しくは、COCOはしむれまでお問合せください。

東京都江戸東京博物館 | 福井市博物館 | 政寧市歴史博物館 | 香川県歴史博物館

宮崎県総合博物館 | 和歌山市立博物館 | 埼玉県立博物館

平成12年1月1日(木)～12月20日(土)



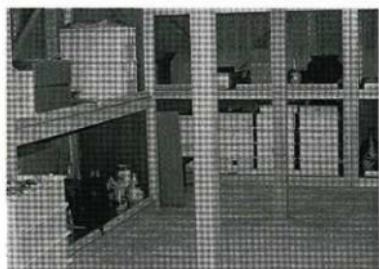
原案 / 作画 Naoko

定に保つた
や湿度を一
屋に保管さ
う特別な部
屋の休館日

- 7月の休館日
 - 3日(月)
 - 10日(月)
 - 17日(月)
 - 24日(月)
 - 26日(水)
 - 31日(月)
- 詳しくは当館までお尋ね下さい。

COCOはしむれの仕事の一つに貴重な文化財や歴史資料などの収集と保存があります。遺跡からの出土品のほかにも薩摩焼や古文書、民具、絵画、写真など指宿の歴史を伝える様々な資料は、傷みや力比がこないように殺菌された後、温度

COCOでの仕事 (2)



貴重な資料が保管されている特別收藏庫

力作ぞり、一堂に展示 第1回いぶすきシルバー美術展開催



にぎわう会場（第10回記念大会の様子）

第十一回を迎える「いぶすきシルバー美術展」がいよいよ開幕します。期間は8月6日～8月20日までです。今年も力作がそろいました。エネルギーあふれる円熟した筆致の作品は見応え充分です。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

指宿市考古博物館「時遊館 COCCO はしむれ」お知らせ版

8月号

お問い合わせ
23-5100

「COCCO はしむれ友の会」 □会員募集□

COCCO はしむれ友の会では、会員を募集しています。現在、会員は60名！ 土器づくり体験や遺跡見学など、古代の歴史に触れてみませんか。たくさんの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

グローバルな視点から 南九州の古代を探る

歴史セミナー開催

平成12年度第3回の歴史セミナーが下記の通り開催されます。聴講は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

第3回 8月26日（土）午後1時30分～3時
演題 「東アジアの中の南九州」（仮題）
講師 甲元真之先生（熊本大学文学部教授）



夏休みのスペシャル企画
なじや。世界の中の鹿
児島を実感でくわぞ



COCCOまんが道場

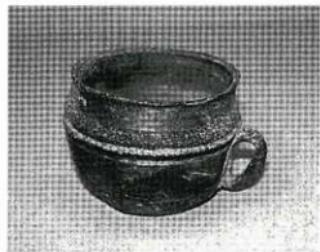
謎の
・
・
・

「コーヒー・カッブ？」

○○○○はしむれ2階の喫茶には、古墳時代(5世紀代)のものと思われる「コーヒー・カップ?」が展示されていました。実はこれ、正確には「須恵器把手付引き瓶」という窯で焼かれた土器(須恵器)なのです。

さて、南九州では、古墳時代の須恵器の窯跡は、まだ見つかっていないません。播磨・兵庫・奈良などに見つかっている須恵器は、大和地方から指宿の豪族に、権力の象徴として配られた品物と言われています。日常生活で使われた土器は、粘土を輪積みにして作られ、野焼きされ

ているため茶色っぽい色をしています。一方、須恵器はロクロを使って作られ、窯の中で高温で焼かれるため粘土がねずみ色に変色して、野焼きの土器よりも硬



古墳時代の「コーヒーカップ？」

くて丈夫な仕上がりとなります。
でも古びて、この須恵器、鹿児島県内
で最も古い時代の遺物なのですが、いつ、
どこで発見されたものなので、その
「歴史」が全く判りません。もし、
お心あたりの方がいらっしゃれば、
COCOCOはしむれまで! 一報ください。



原案 / 作画 Kazusa H. Sayaka O.

COCCOでの仕事 (3)

このミニアーナーでは、CCCCOはしむれの仕事や役割についてご紹介します。

埋蔵文化財や歴史資料について調査・研究することもOCCCはしむれの仕事の一つです。企画展示や発掘調査の速報展なども、調査成果やこれまでのデータを検討して古代の歴史を読み解くことから始まります。また、ユニークな体験学習プログラムの企画・開発なども行っていきます。夏休みの自由研究のアドバイスもできます。お気軽にお尋ねください。

8月の休館日
7日（月）
14日（月）
21日（月）
23日（水）
28日（月）

詳しくは当館までお尋ね下さい。



土器の復元の様子。これも研究活動の一つです

8月の休館日
7日（月）
14日（月）
21日（月）
23日（水）
28日（月）
詳しくは当館まで
お尋ね下さい。

調査成果に期待

水迫遺跡の総合調査



日本の旧石器時代のイメージを一新した水迫遺跡。教育委員会ではその内容をより詳しく調べるために、

全国の大学や研究機関の協力を得ながら、8月17日から総合調査を実施

指宿市考古博物館「時遊館 COCCO はしむれ」お知らせ版
COCCHO だより 9月号

お問い合わせ
23-5100

【第4回歴史セミナー開催】 万之瀬川流域の考古学

—古代～中世の貿易事情—

大量の中国陶磁器が発見された万之瀬川流域。最新の発掘成果から古代～中世の貿易の様子に迫ります。

◇日時 平成12年9月23日(土) 午後1時30分～3時

◇会場 COCCO はしむれ1階講堂

◇講師 宮下貴浩先生(金峰町教育委員会)

しています。現在、区域を一部拡張して、住居跡の発見された隣接地点の調査を実施中です。調査は、室内での出土品の整理作業も含め、9月7日までの予定です。新たな生活痕跡や出土品の発見に期待が高まっています。

第24回 ふるさとの集い

8月13日(日)、『第24回中高生ふるさとの集い』が開催されました。美化活動の後、バーボール大会が行なわれ、13チームによる熱戦の末、新西方Aチームが優勝しました。総勢261名が集い、美化活動にバーボールにさわやかな汗を流しました。

日 時 9月3日(日)
午後1時50分～3時35分

会 場 鹿児島市中央公民館

フォーラム 『親と子が共に育つ家庭教育のあり方～心豊かな青少年の育成をめざして～』

お問合せ 時遊館 COCCO はしむれ
社会教育課社会教育係
電話 23-5100

平成12年度

フオーラム「父がくる」開催
親と子がともに育つ家庭教育のあり方をいっしょに考えるフォーラム「父・かえる」が左記の内容で開催されます。どなたでも参加できます。

COCCOまんが道場

■ 石器づくりの巻

石器は人間の道具の原点。水辺遺跡の古代人もたくさんの石器を作つて生活していました。槍の先に付けるタイプの狩猟用の石器や動物を解体(調理)する時に使う石器など様々なものが出土しています。

石器は、原石を何回も割つて形を整えて作られるため、半円弧状に小さな石のクズが散らばつていれば、そこが石器づくりの場所と推定できま



華麗な衣装と魅惑の踊り

ハンガリー国立民族アンサンブル

首都ブダペストに本拠地を置き、ヨーロッパでも最大規模を誇る民族舞踊団。ジプシーを源流とする情熱的な踊りなど完成度の高いステージは世界40ヶ国以上で公演され国際的に高く評価されています。

プログラム カロチャ地方の踊り・少女たちによる瓶の踊り新兵の踊り・ハンガリー民謡とツイシバロンのソロなど 公演時間は約2時間

とき: 10月19日(木) 午後6時30分~
ところ: 指宿市民会館

入場料 大人3000円: 学生1000円

シルバー美術展開幕

9月の休館日
4日(月)
11日(月)
18日(月)
25日(月)
27日(水)
詳しくは当館までお尋ね下さい。

第11回いぶすきシルバー美術展が8月20日閉幕しました。期間中多数の方々のご来場がありました。ありがとうございました。

COCCOでの仕事(4)

COCCOはしむれには、展示室の解説・案内を行うミュージアムティーチャー、アシスタントティーチャーがいます。団体から個人で見学の方まで、分かり易い説明で指宿の古代を紹介しています。一見、難しそうな考古学の世界を解き明かしてくれるマジシャン、それがミュージアムティーチャー・アシスタントティーチャーなのです。



華麗な衣装と魅惑の踊り♪ ハンガリー国立民族アンサンブル

10月19日(木)午後6時30分開演(午後6時開場)

■ 入場料(全席自由席) 大人3,000円 学生1,000円(小・中・高校生)

問い合わせ先 社会教育課23-5100



ハンガリーの至宝といわれる「ハンガリー国立民族アンサンブル」。民族音楽と魅惑の踊りが繰り広げる舞台はアメリカ、ロシアなど世界40ヶ国以上で行われ、国際的に高く評価されています。

指宿市文化祭 指宿地区広域文化祭



指宿地区広域文化祭芸術作品展 会場 COCCO はしむれ 2階特別展示室

11月7日(火)~12日(日) 9:00~17:00

指宿市文化祭展示部門 会場 指宿市総合体育馆

11月11日(土)~12日(日) 9:00~16:30 ※11日(土)は19時まで

指宿市文化祭芸能部門 会場 指宿市民会館大ホール(指宿郡内団体も参加)

11月12日(日) 10:00~16:00 終まで

文艺大会 【俳句大会】11月 4日(土) 13:30~ 会場 COCCO はしむれ

【俳句大会】11月 6日(月) 13:30~ 会場 柳田校区公民館

【川柳大会】11月12日(日) 13:30~ 会場 市民会館

【薩摩郷句大会】11月18日(土) 18:00~ 会場 松下食堂

10月号

お問い合わせ
23-5100

平成十二年度は指宿市郡一市四町で実施する指宿地区広域文化祭と市文化祭が合わせて開催されます。市郡内から多くの芸術作品・芸能の参加がありますので、ぜひご鑑賞ください。

◇お問合せ	十一月十七日(金)午後五時まで	◇日時	十一月二十五日(土)
電話	(中央公民館内)	◇募集期間	午前九時~午後三時三十分
育成連絡協議会事務局	指宿市子ども会	◇申込み先	COCCHO はしむれ
24の4569		◇募集人員	六十名(十組程度育成者一名 子ども会五名)

指宿特産の「オクラ」や環境にやさしい「ケナフ」を使った紙すき体験をしてみませんか。

紙すき体験参加者募集

日本考古学協会鹿児島大会開催

2大シンポジウム開催 「旧石器から縄文へ」 「はたけの考古学」



今世紀最後となる日本考古学協会の地方大会が鹿児島市で開催されます。大会では「旧石器から縄文へ」そして「はたけの考古学」というテーマでそれぞれシンポジウムが開催されます。水迫遺跡（旧石器時代）や橋牟礼川遺跡（平安時代の畠出土）が大きな話題になりそうです。この機会をお聴きのがなく！

■ とき 10月7日（土）、8日（日）の2日間

■ ところ 鹿児島市民文化ホール（入場無料）

■ 日程 10月7日（土）

◇ 13:00～14:30

記念講演会『日本列島文化の南』 小林達雄先生（国学院大学教授）

◇ 15:00～17:00

シンポジウム研究発表『旧石器から縄文へ』

10月8日（日）

◇ 9:00～11:00

シンポジウム研究発表・討論『旧石器から縄文へ』（前日の続き）

◇ 11:00～12:00

基調講演『いま、はたけの考古学に熱い視線が注がれている』

工楽善通先生（エヌコアジア文化センター・文化遺産保護協力事務所）

◇ 13:30～16:00

シンポジウム研究発表・討論『日本考古学におけるはたけ研究の現状と課題』

10月の休館日

2日（月）

10日（火）

16日（月）

23日（月）

25日（水）

30日（月）

詳しくは当館まで
お尋ね下さい。

でも参加できます。

講師 桂文喬氏
(落語家、教育評論家)

演題『笑いはたっぷり、
健康はしつかり』

◇ 講演会 ◇

会場 指宿市民会館
内容 体験発表、講演会等

日時 11月十一日（土）
午前九時～

「まなび」でふれあう！
南のふるさと
市生涯学習推進大会の
お知らせ

指宿地区広域文化祭・生涯学習推進大会

会場 COCCO はしむれ

十一月七日(火)
十二日(日)
9時~17時

指宿地区広域文化祭
芸術作品展

会場 指宿市民会館
指宿市文化祭展示部門

十一月十二日(日)
9時~16時

指宿市文化祭芸能部門
会場 指宿市総合体育館

十一日(土) 9時~16時30分
十二日(日) 9時~16時30分



菊の千輪咲展示会

指宿千輪会の方々による菊の千輪仕立てが展示されます。展示される菊は、昨年の9月下旬にさし芽され、約1年2ヶ月かけて、育て上げられたものです。豪華で美しい季節の花をご堪能下さい。



期間 11月1日(水)~
11月12日(日)まで(予定)

会場 COCCO はしむれ
1階ロビー

COCICOだより
コ
コ
11月号

お問い合わせ
23-5100

大会テーマ
「まなび」でふれあう!

南のふるさと

十一月十一日(土)
9時~

会場 指宿市民会館
内容 体験発表・講演会等

◇講演会 11時~
演題 「笑いはたっぷり、
健康はしつかり!」

講師 桂文喬先生
(落語家・教育評論家)

小学生将棋教室のお知らせ

指宿将棋センターでは、毎週土曜日と日曜日の午後に、小学生将棋教室を実施しています。参加は無料です。たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。詳しくは下記までお尋ねください。

会場 指宿将棋センター(二月田駅前)
主催 上吹越 金雄さん(日本将棋連盟5段位)
電話 22-2920



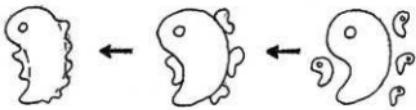
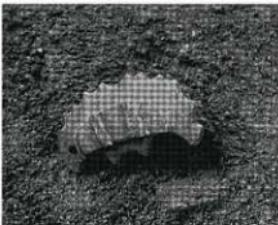
子持勾玉と勾玉

子持勾玉は、古墳時代～奈良・平安時代の頃に、儀式などで使われた勾玉の1つです。

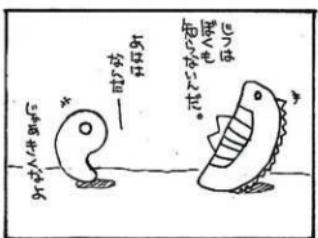
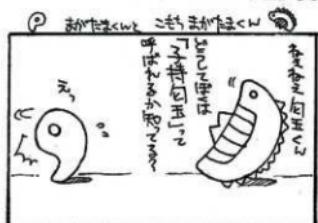
いつ頃、どの地域で使われはじめたものかはっきりとは判っていません。古墳時代の作られはじめた頃の子持勾玉は、大きな勾玉に小さな勾玉がいくつもひつていた形をしていたことから、この名前が付けられました。子持勾玉は韓国でも発見されていて「母子勾玉」とも呼ばれています。

橋牟礼川遺跡では、竪穴住居を埋めていた土の中から出土しました。他の勾玉に比べ発見例が少なく、古墳に副葬品として捧げられている事例があることからも、当時の権力者や呪術を司った人物の持ち物と考えられています。

一方、勾玉は縄文時代から作られはじめました。三種の神器の一つとしてもよく知られていますが、その形の由来には、猪のキバの形を真似たとする説と胎児の形を真似たとする説があります。



COCCOまんが道場



原案/作画 Kazusa H.

11月の休館日

6日（月）
13日（月）
20日（月）
22日（水）
27日（月）
詳しくは当館までお尋ね下さい。

◆ 申し込み先

指宿市子ども会
育成連絡協議会事務局
(中央公民館内)
電話 24の4569

◆ 募集期間

十一月十七日（金）午後五時まで

◆ 募集人員

六十名（十組程度 育成者一名、子ども会五名）

◆ 場所

午前九時～午後三時三十分

◆ 日時

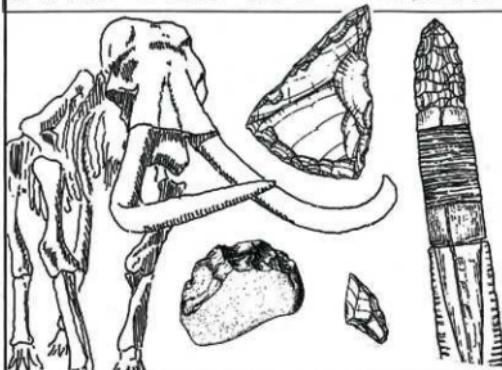
指宿特産の「オクラ」や環境にやさしい「ケナフ」を使った紙つき体験をしてみませんか。

ケナフ

紙つき体験募集

1万5千年前にタイムスリップ

後期旧石器時代の生活を企画展示



ロシア、ヨーロッパの
旧石器文化も紹介

12月23日～2月1日

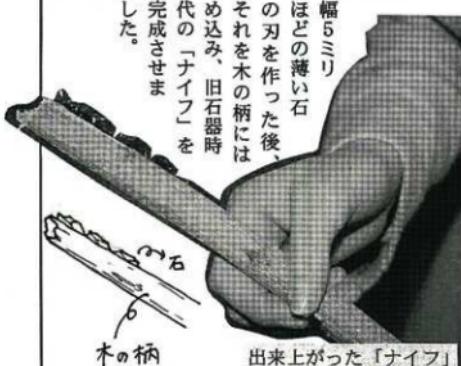
指宿市考古博物館「時遊館COCCO はしむれ」お知らせ版
COCCHO だより

12月号
お問い合わせ
23-5100

土器づくり&石器づくり

十一月二十五日（土）
COCCO はしむれ友の会による秋の土器づくり
と「はしむれ学園」の生徒たちによる石器づくりが
行われました。土器づくりには、十五名が参加。今回
のテーマである弥生土器の製作に皆、真剣な表情で取り組んでいました。

石器づくりでは、水迫遺跡でも使われていた細石刃と呼ばれる小さな石の刃づくりに挑戦。黒曜石を割つて、長さ1センチ、幅5ミリほどの薄い石の刃を作つた後、それを木の柄にはめ込み、旧石器時代の「ナイフ」を完成させました。



出来上がった「ナイフ」



今回の企画展示では、水迫遺跡の成果を含め、南九州の後期旧石器文化を中心にその時代の生活を探ります。また、全国各地、そして海外の旧石器文化も常設展示入場料でご覧いただけます。是非、おいでください。



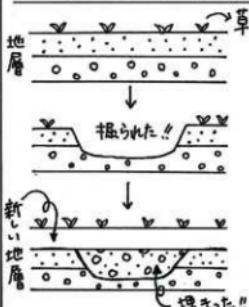
石器づくりの説明に
聞き入る子どもたち

COCCOまんが道場



地層の不思議

遺跡の発掘は、地層ごとに調べていくことが基本です。竪穴住居や炉跡などの生活の痕跡は、当時の地面に掘り込んで造られていることから、そこで生活が終わると、やがて、その場所は埋まってしまいます。その時、元の土とは、違う色の土や異なる鉱物を含んだ土が入り込むために掘られない所と区別することが出来ます。この微妙な「土の差」を手がかりに生活の跡を見つけていくのです。もちろん、肉眼では、はつきりと判らない場合もあるので、地層のデジタル写真から、コンピュータを使って土の色の違いを分析したり、



また、発掘調査員の「見た目」を検証することもあります。水泊遺跡では、科学的な分析でおおよその年代が判っている火山灰が積もっています。この火山灰の年代をもつていて、やがて、そ地層に含まれている炭化物等を分析して遺跡の年代を推定しているのです。



原案/作画 Naoko A.

第12回鹿児島県生涯学習県民フェア

第12回を迎える鹿児島県生涯学習県民フェアが指宿市で開催されます。期日、会場と主な内容は下記の通りです。どなたでも参加できます。お気軽においでください。

- 期日 平成13年1月31日(水)～2月1日(木)
- 会場 指宿市民会館、市総合体育館、ふれあいブルガーラザ菜の花館
- 内容 講演会、シンポジウム、作品展示、物産展等

12月の休館日

- 4日(月)
- 11日(月)
- 18日(月)
- 25日(月)
- 27日(水)
- 詳しくは当館までお尋ね下さい。

擁護されることは、平和で民主的かつ幸福な社会をつくる礎です。「人権の世紀」と言われる二十一世紀の到来を目前にして、改めて人権の大切さを認識し、差別や偏見のない明るい社会をつくりましょう。

世界人権宣言には、「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利について平等である」とうたわれています。すべての人々の人権が平等に尊重され

月10日は人権週間です。



水迫遺跡からのメッセージ

2階特別展示室で2月1日まで開催



展示室の様子。古代人もお出迎え?!

指宿市考古博物館「時遊館COCCO はしむれ」お知らせ版

1月号

お問い合わせ

23-5100

南九州の後期旧石器時代の石器や水迫遺跡住居跡の実物大模型など約二百九十点を展示。また、ヨーロッパの後期旧石器時代のヴィーナス像や動物彫像も合せて紹介しています。是非、おいでください。

そば作り体験と「土器焼き」体験

12月24日(日)、COCCO はしむれで、約40名が参加して、「そば」づくり体験と土器焼き体験が行われました。「土器焼き」は、縄文時代や弥生時代に行われていた「野焼き」に挑戦。わらを地面に敷き詰めた上に、各自が作った土器をのせ、もみがらをかぶせて、また、わらで覆い点火。約5時間後、1つも割れることなく、すべてきれいに焼きあがりました。また「そば」は、体験学習に参加している指宿市内の小中高校生が9月に植え、12月初旬に収穫したものです。昔ながらの石うすでそばをひいて、小牧地区的伝統料理「小牧そば」を作りました。COCCO はしむれ友の会や小牧地区的皆さんもお手伝いに駆けつけてくださいました。

おいしか
たよ!!



野焼きの跡の様子



石うすでそばをひくようす。うーん難しい!?

—お米を食べる—

日本各地で稻作がおこなわれるようになったのは、弥生時代からとされていますが、北部九州では、縄文時代の晚期（終わりごろ）にいち早く稻作が伝わっていたようです。稻作技術は、北部九州から北へ南へと広がり、お米は、やがて、日本人の主食としてなくてはならないものになりました。平安時代の橋牟礼川遺跡では、畑で「陸稻」を作っていますし、弥次ヶ湯地区にある敷領遺跡からは、水田跡が発見されています。

21世紀、一番最初に二十歳になる皆様に

成人式開催のお知らせ

■期日 平成13年1月4日(木)

午後1時から

■会場 指宿市民会館

※当日受付もできます。皆様のご出席をお待ちしております。



第12回鹿児島県生涯学習県民フェア

第12回目を迎える鹿児島県生涯学習県民フェアが指宿市で開催されます。期日、会場と主な内容は下記の通りです。どなたでも参加できます。お気軽にいでください。

■期日 平成13年1月31日(水)～2月1日(木)

■会場 指宿市民会館、市総合体育館、ふれあいプラザ菜の花館

■入場は無料です。

1月の休館日

9日(火)

15日(月)

22日(月)

24日(水)

29日(月)

詳しくは当館まで
お尋ね下さい。

■主な催し

1月31日(水)

- 13:00～郷土芸能
- 指宿湯豊太鼓振興会
- 登尾下園田の神さあ保存会
- 14:10～講演
- 講師 吉行和子先生(女優)
- 演題「人と出会う楽しさ」

※この他、1月31日、2月1日の両日
物産展や即売会も行われます。

COCCOまんが道場



て絆ちゃん

て新生くん



あ、稻

庭玉子

おやじ

を作

っくれ

まち

か

な

か?

な

ば

か?

平成12年度

指宿市読書まつり・子ども会大会開催

平成12年度の指宿市読書まつり・子ども会大会が下記のとおり開催されます。子ども会活動や読書活動についての発表、おはなし会の実演や本のリサイクルコーナー、展示コーナーの設置など盛りだくさんの内容です。お気軽にご参加ください。

■日時 2月10日(土) 13:00~16:30

- 13:00~受付、開会行事
- 14:00~子ども会活動発表
- 15:10~読書活動発表
- 15:40~おはなし会実演

■会場 ふれあいプラザなのはな館(視聴覚室)

■主催 指宿市教育委員会・指宿市子ども会育成連絡協議会
指宿市読書活動推進協議会

■テーマ 家庭や地域で進めよう
広めよう読書活動



お問い合わせ

23-5100

研究発表会開催

市PTA連合会研究発表会

会が次のとおり開催されます。
多数の皆様のご参加をお待ちしております。

■日時 2月17日(土)
午後2時~4時

■会場 指宿市民会館
大会議室

■研究発表
池田小PTA
指宿商業高校PTA

第26回美術グループ「いでゆ会」作品展

指宿の街並スケッチ展

会期 2月25日(日)~3月4日(日)

会場 時遊館COCCOはしむれ

2階特別展示室

入場料無料 たくさんの皆様のご鑑賞をお待ちしております。

COCCOまんが道場



原作/画 Naoko.A



2月の休館日

- 5日（月）
- 13日（火）
- 19日（月）
- 26日（月）
- 28日（水）

詳しくは、当館にお尋ね下さい。

水道跡で見つかった竪穴住居跡は、とても小さくて、人ひとり横になるのもきゅうくな印象を受けます。世界の民族例を見ると座って眠る人々もいることから、旧石器時代の人々も、座って眠っていたのはとの説もあります。弥生時代になると、竪穴住居の中にベッドのような段が作られるごとから、横になって眠っていたと考えられています。



COCCOはしむれ2階の学習情報コーナーで下記の番組を放送します。入場無料です。お気軽にお出で下さい。

2月10日

2月24日

宇宙

宇宙への旅

— 国立青少年センター —
○宇宙の謎に迫るとともに、宇宙開発の現状を紹介します。
○日本人宇宙飛行士・若田光一さんからの子ども達へのメッセージを紹介します。(VTR)
(生中継) + (TV電話) + (FAX)

超輪のメッセージ

— 超選 —
○新居浜市立金栄小学校の白板車クラブ活動を紹介します。(VTR)

子どもとしょかん

○「宇宙」に関する図書を紹介します。(VTR)

THE MAKING

○板ガラス・鏡ができるまでを映像で紹介します。(VTR) (S.C.放送番組)

中はどうなってるの?

○カメラを分解しながらその仕組みと原理に迫ります。(VTR) (S.C.放送番組)

チャレンジ教室

— フィルムケースロケット
づくりに挑戦 —

— 国立青少年センター —
○フィルムケースと発泡剤、水を使って簡単なロケットを作ります。
○ロケット作りをおして、ロケットが飛ぶ仕組みを学んでいきます。

(生中継) + (TV電話) + (FAX)

スポーツ(サッカー)

2002年

— 横浜国際総合競技場 —
○日本サッカー界をリードしているJリーガーが子どもたちにサッカーの魅力やワールドカップの素晴らしさを伝えます。(VTR) + (TV電話) + (FAX)

子どもが先生! 出前講座

— 堂塚 —
○八潮市の「出前 子ども講座」で活躍する子ども達を紹介します。(VTR)

子どもとしょかん

○「スポーツ」に関する図書を紹介します。(VTR)

THE MAKING

○レンズ付フィルムのリサイクルの行程を映像で紹介します。(VTR) (S.C.放送番組)

研究室におじゃまします

○石川県加賀市「中谷吉郎雪の科学館」を訪れて、雪の秘密に迫ります。(VTR)

チャレンジ教室

— Jリーガーの
サッカー教室 —

— 横浜国際総合競技場 —
○Jリーガーの一流のデモンストレーションをまじえたジュニア向けのサッカー教室を行います。

COCCOまんが道場



原作/画 Kusa. H

3月の休館日

5日（月）

12日（月）

19日（月）

26日（月）

28日（水）

詳しくは、当館に
お尋ね下さい。

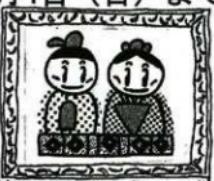
縄文時代は、狩猟採集の社会。中でも山菜や木の実などの「植物」は、彼らの食生活を大きく支えてきました。縄文人のタンパク源の70%は、ドングリなどの堅果類だったとの説もあります。志布志町の東黒土田遺跡からはドングリを保存していた「貯蔵のための穴」と炭化したドングリが見つかっています。

第26回

美術グループ

「いでゆ会」作品展

3月4日（日）まで



時遊館COCCOはしむれ

2階特別展示室で開催中です。
入場無料です。たくさんの皆様の
ご鑑賞をお待ちしております。

COCCOだより

3月号

お問い合わせ
23-5100

ボランティアグループ

時遊館COCCOはしむれ「友の会」

からのお知らせです。

時遊館COCCOはしむれ友の会の運営する、COCCOはしむれ2階の喫茶「はしむれ」では、皆様の日ごろのご愛顧に感謝申し上げ、3月14日（水）、古代カレー（500円）、古代カレーセット（600円）を半額でご奉仕させていただきます。皆様のお越しをお待ちしております。なお、営業時間は、午前11時～午後3時までです。また、友の会では会員を募集しています。史跡巡りや体験学習を中心、指宿の歴史を楽しく学びませんか。詳しくは、時遊館COCCOはしむれまでお問い合わせください。



平成12年度（3月発行）
指宿市立少年育成センター
(教育委員会社会教課)
〒891-0403
指宿市十二町2290番地
TEL (23) 5200
FAX (23) 5000

少年育成センターだより

☆☆☆ 見つめていますか？ 我が子のありよう ☆☆☆

子どもを非行化させる十か条

- ① 幼いときから冷たく放りっぱなしにせよ。遊び相手になるとか、スキンシップは全く無用。
- ② 欲しいと言ったら何でも直ぐ買い与えよ。我慢させることは絶対に禁物。
- ③ 子どもの間違いや失敗は理由を問わず叱り飛ばせ。口で言うよりひっぱたく方が、いつそうよい。
- ④ 子どもがどこで何をして遊ぼうが気にとめない。遊び仲間について全く知る必要はない。
- ⑤ 弟弟やよその子と比較して、お前はバカだ、誰々を見習え！を連発せよ。
- ⑥ 忙しいのに食卓のだんらんなど無駄。子どもの話題や关心など無視すればいい。
- ⑦ 子どもが善いことや努力をしても、めったに褒めるな。むしろ、ごまかしや裏切りなど悪事をうまくやったら、必ず褒めよ。
- ⑧ 子どもの前では決して夫婦間の意見を一致させるな。特に父親は難しい問題からうまく逃げよ。
- ⑨ お金こそ人生のすべてであると身をもって教え込め。宗教や精神生活を軽べつさせよ。
- ⑩ 子どもの前で常に法律、警察、学校、役所の悪口を言い、社会のきまりや公共機関への敵意を植え付けよ。

～ 補導センター指導状況～（平成13年1月末日現在）

	小学生	中学生	高校生	その他	計
喫 煙			3 (3)		3 (3)
単車2人乗り			2	1	3
自転車2人乗り	2	5	15 (5)	1	23 (5)
自転車無灯火		14 (5)	20 (6)		34 (11)
飲 酒					
ゲームセンター	5 (2)		3		8 (2)
自転車横並び		7		4	11
パチンコ			1		1
深夜はいかい			4		4
計	7 (2)	26 (5)	48 (14)	6	87 (21)

* 未成年者の喫煙が増えています



だめ！



あなたは出会いがありましたか？

感動で胸はずむ本に
いい本に出会いすることは、
いい人に出会いことに似ている。
読書は、想像力や考える習慣を身につけ、豊かな感性や情操、思いやりの心を
はぐくむことができます。

そのためにも、食事の時間のように
「読書の時間」を設ける、親も一緒に本を
読むなど工夫し、子どもが読書の楽しさ
と出会えるきっかけをつくりましょう。

また、読書を通じて子どもが感じたり
考えたりしたことに耳を傾け、話し合う
など、親子の会話を増やし深める契機と
して読書を活用することも大事です。

春の心豊かな青少年を育てる運動（3月11日～4月10日）

(11) 学芸員研究活動

論文等

- 下山覚・鎌田洋昭「指宿市多羅ヶ迫遺跡における炉跡の可能性のあるものについて
—炉跡擬似遺構の事例を通して—」『水追遺跡からのメッセージ—日本集落の源流を探る—』平成12年度第7回時遊館COCCCOはしむれ企画展示図録 2000.12.23 指宿市考古博物館・時遊館COCCCOはしむれ
- 下山覚「水追遺跡における土層色の異同判定についてー主にデジタルデータの解析を通してー」同上
- 下山覚「水追遺跡における炉跡の認定についてー遺構認定プロセスの実践的枠組みからー」同上
- 中摩浩太郎「水追遺跡における住居跡の認定について」同上
- 渡部徹也「水追遺跡における道路状遺構の認定方法と課題について」同上
- 鎌田洋昭「水追遺跡における石器群分析方法と課題」同上
- 下山覚「九州地方のはたけ研究の現状と課題」「はたけの考古学」日本考古学協会2000年度鹿児島大会資料集第1集 2000.10.7 日本考古学協会
- 下山覚・中摩浩太郎・渡部徹也「874年3月25日のはたけ」同上
- 下山覚・中摩浩太郎・渡部徹也「はたけ事例一覧」同上
- 下山覚・中摩浩太郎・渡部徹也・鎌田洋昭「水追遺跡発見の後期旧石器時代の住居跡について」『考古学ジャーナル』No.465 2000.10.30
- 下山覚「いわゆる「松添式土器」の評価をめぐってー南九州の資料を用いてー」『九州旧石器』第4号 橋昌信先生還暦記念特集号 2000.12.2 九州旧石器文化研究会
- 鎌田洋昭「南九州における細石文化期の剥離システムについてー高須川流域遺跡群の様相ー」同上
- 下山覚・中摩浩太郎・渡部徹也・鎌田洋昭「鹿児島県指宿市水追遺跡の発掘調査の成果」「日本考古学』第9号2000.5 日本考古学協会
- 下山覚・中摩浩太郎・渡部徹也・鎌田洋昭「指宿市水追遺跡の後期旧石器時代集落について」
- 『興南』第54号 2000.1.1 興南会 東京
- 下山覚(共著)「九州考古学散歩」学生社 2000.6

研究発表

- 下山覚「はたけの考古学」シンポジウムパネラー『はたけの考古学』日本考古学協会2000年度鹿児島大会 2000.10.8
- 下山覚・中摩浩太郎・渡部徹也「ポスターーション 発掘されたはたけ」同上
- 下山覚・中摩浩太郎・渡部徹也・鎌田洋昭「鹿児島県指宿市水追遺跡の発掘調査の成果」日本考古学協会 2000.5.24
- 下山覚・中摩浩太郎・渡部徹也・鎌田洋昭「鹿児島県指宿市水追遺跡の発掘調査の成果」日本考古学協会 2000.5.24

◆後援・共催・協賛事業の部

(12) 時遊館COCCCOはしむれ友の会活動支援

平成11年度に発足した時遊館COCCCOはしむれ友の会は、平成12年度末現在で、会員数が60名となった。以下に平成12年度の活動概要について記す。

活動概要

- 4月16日(土)土器づくり
- 4月30日(土)土器焼き
- 5月3日～5日 特別セミナー「水追遺跡のロマン」参加
- 7月1日(土)第1回歴史セミナー参加
- 7月15日(土)第2回歴史セミナー参加
- 7月27日、29日、8月1日 勾玉づくりボラティア
- 8月2日・3日 古代にチャレンジボランティア参加
- 8月26日 第3回歴史セミナー参加
- 9月9日 体験!はしむれ学園そばの種まきボランティア参加
- 9月23日 第4回歴史セミナー参加
- 10月7日～9日 日本考古学協会鹿児島大会参加
- 10月29日 遺跡見学会 上野原遺跡・鹿児島市尚古集成館見学
- 11月18日 水追遺跡勉強会
- 11月25日 体験!はしむれ学園 合同土器づくり・石器づくり

- 12月3日 体験！はしむれ学園 合同そば刈り
 12月17日 体験！はしむれ学園 合同土器焼きとそば打ち
 3月10日 友の会勉強会 唐ねこさん・清見岳登山・池底見学

(13) 親しむ博物館づくり事業「体験！はしむれ学園」

親しむ博物館づくり事業は、学校週5日制の導入に先立ち、地域にある博物館の有効な活用と文部科学省の委嘱事業である。今回は、時遊館COCOはしむれ企画運営実行委員会を組織し、事業を実施した。

a. 目的

今回、体験はしむれ学園事業を、古代生活の体験学習の場として実施し、興味関心の喚起に努めた。今年度の事業は、より深化した学習の基礎となるものである。事業の延長上に、中級コース・上級コースの設置を検討しており、将来の指導者の育成も眼中に入れている。同時に、指導者の育成や、学習プログラムの充実によって、小学校への総合学習の導入や学校週5日制完全実施に対応した博物館としてのあり方を指向していく。

①第1回 体験！はしむれ学園一体験発掘調査・地層観察

期 日 8月11日（金）8時30分～16時30分
 場 所 水追遺跡・指宿市内
 参加者 市内児童・生徒、ボランティア
 指 導 職員
 内 容 水追遺跡の発掘調査作業に参加、地層学習として指宿市周辺巡査を実施。

②第2回 体験！はしむれ学園 古代食つくりに挑戦～ソバをうえよう～

期 日 平成12年9月15日（金）8時30分～10時30分
 場 所 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡地内畑
 参加者 市内児童・生徒、ボランティア
 指 導 職員
 内 容 実際に畑にまく準備から、種まき作業までを実施。

③第3回 体験！はしむれ学園－古代の服つくりに挑戦－

期 日 平成12年10月28日（土）9時～12時
 場 所 時遊館COCOはしむれ
 参加者 市内児童・生徒、ボランティア
 指 導 職員
 内 容 「布をつくる（あんぎん織）」・「染料をつくって色付けする」・「服をつくる」という流れを体験し、実際に古代人の服つくりに挑戦。

④第4回 体験！はしむれ学園－土器つくり・石器つくりに挑戦－

期 日 平成12年11月25日（土）9時～16時
 場 所 時遊館COCOはしむれ
 指 導 四元 試（県工業技術センター）・桑波田 武志（鹿児島県立埋蔵文化財センター）
 参加者 市内児童・生徒、ボランティア
 内 容 土器作りを、生地（粘土）作り、土器の形作り、文様付け、色付けの順で実施。
 石器作りは、黒曜石の特徴の話と切れ味の体験。「細石刃」を用いて「植刃器」作りを実施。

⑤そば刈り・そばたたき

期 日 平成11年12月4日（月）・9日（土）・11日（月）
 場 所 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡地内畑
 参加者 市内児童・ボランティア
 指 導 職員
 内 容 そばの収穫・乾燥・そばの実取りの作業を3回に分けて実施。石器の收穫具も使用した。

⑥第5回 体験！はしむれ学園－古代食つくりと土器焼きに挑戦－

期 日 平成12年12月24日（日）9時～16時
 場 所 時遊館COCOはしむれ・国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡

参加者 市内児童・生徒、ボランティア
指導 小牧生産者・四元誠（県工業技術センター）
内容 「古代食つくりに挑戦」のまとめとしてそば打ちと試食を、「土器つくりに挑戦」のまとめとして土器の野焼きを実施。そばの粉引き作業では石臼を使用、そば粉の練込み、延ばし、そば切り作業を、小牧地区的生産者の指導で実施。土器の野焼きは史跡公園の広場に野焼き場の設営を行った。焼成には、稻もみと稻わら及び若干の板材を使用し、5時間程度で焼き上げた。

参加者状況

参加者人数 約180人（参加申し込み人数 約150人）

内訳 参加者人数：児童生徒150名（小学生75名・中学生80名・高校生5名） 大人30名



体験はしむれ学園（そば植えの様子）



体験はしむれ学園（そば作りの様子）

(14) 押し花展

市民講座受講生の押し花作品展が開催された。

a. 日時 平成11年11月3日（水）～11月10日（水）

b. 場所 2階特別展示室

(15) 菊の千輪咲展示会

指宿千輪会による菊の千輪仕立ての展示があった。

a. 日時 平成11年11月2日（火）～11月14日（月）

b. 場所 1階ロビー

(16) 「あざみの会」作品発表展示会

a. 日時 平成12年3月12日（日）～3月20日（月）

b. 主催 あざみの会

c. 出展作品数 洋画5点

d. 場所 2階特別展示

(17) いでゆ会発表展示会

指宿市文化協会所属の「いでゆ会」の作品発表展示会を行なった。

a. 日時 平成11年2月8日（火）～2月13日（日）

b. 主催 いでゆ会

c. 出展作品数 洋画・陶芸作品58点

d. 出展者数 18名

e. 会場 2階特別展示室

◆ 発掘調査の部

(18) 水道遺跡総合調査

a. 概要

水道遺跡の注目される成果は、大きくふたつ挙げることができる。ひとつは、南部九州における縄文時代草創期の隆帯文土器と縄文時代早期の貝殻文系円筒形土器との間を型式学的に補完する水道式土器が初めて発見されたこと、もう

ひとつは、後期旧石器時代（細石刃文化期）に帰属すると考えられる堅穴建物跡、道跡、杭跡、炉跡、土壙の遺構群から構成される集落跡が検出されたことである。これらの遺構群は第9層から掘削され構築されていた。第9層から出土する主な石器は、細石刃、野岳、休湯型細石刃核、小形のナイフ形石器、台形石器である。平成12年度は、後期旧石器時代の集落の広がりを確認するために、トレンチを設定し、確認調査を実施した。

b. 調査面積 128m²

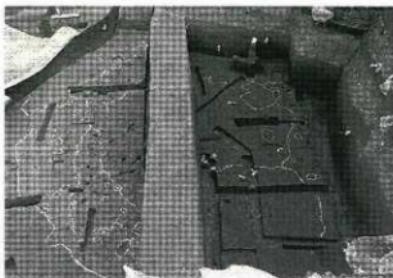
c. 調査期間 平成12年6月26日～平成13年3月30日

d. 確認調査の成果

新たに堅穴建物跡5基、道跡2条、炉跡2基等の遺構群、石器分布の広がりを確認した。



総合調査の状況



堅穴建物跡検出状況

(18) 岐阜県営広域農道事業に伴う水追遺跡発掘調査

水追遺跡発掘調査

・期 間：平成11年5月25日～平成12年3月31日

平成12年度岐阜県営農道整備事業に伴う水追遺跡発掘調査では、昨年度から継続調査を実施している②地点と、遺跡の広がりの範囲を確認する周辺確認調査を④・⑤・⑥・⑦地点内で行った。(第1図)

②地点

②地点では、東側への谷への傾斜面地であるものの、調査区西側壁際周辺で縄文時代早期の遺物が出土している。調査区東側壁際周辺は遺物の出土量は少ない。特記する遺構の検出はなかった。層位的に、後期旧石器時代の地層まで掘り下げを行い、シラスの下層より石器が数点出土した。

④地点1 トレンチ

広域農道予定路の西側に位置する④地点では、4m×4mのトレンチ（試掘坑）を設定し、遺物包含層の有無を目的として確認調査を実施した。ここでは、池田カルデラから噴出されたシラスが厚く堆積しており、5mまで重機を用いながら調査を続けたが、包含層の確認は出来なかった。堆積している地層の状況から、西側へ下る谷部への斜面部と考えられる。しかし、文化庁の補助事業で調査した隣接地（③地点2 トレンチ）では、地表面から1m下から、弥生時代後期の遺物がまとまって出土する遺物包含層が確認された。このことから、③地点2 トレンチから④地点1 トレンチの間に、弥生時代の遺物包含層が残存している可能性が予想される。

⑤地点

広域農道予定路の東側⑤地点には、4ヶ所のトレンチを設定し、遺跡の広がりの範囲を確認する調査を実施した。この地点は谷部への傾斜面と予想されたため、他地点のトレンチに比べて調査面積を大きくし、段掘りをしながら深く掘下げが出来るようにした。

⑤地点1 トレンチ

6m×6mのトレンチを設定し、掘下げを行った。地表面下の層位は、開聞岳から噴出された火山灰をはじめ、池田カルデラ、鬼界カルデラ、桜島、岩本火山灰、姶良カルデラ、宿毛原火山灰を厚く堆積している状況が確認できた。地層の堆積状況では、北側と西側へ傾斜する斜面地であることが確認された。遺物の出土はなかった。

⑤地点2 トレンチ

確認調査による地層の堆積状況では、隣接地の②地点から延びる西側への谷部への斜面地であり、また、北側にも傾斜していることが確認された。各地層の堆積厚が厚いことから、この周辺の谷の最深部分と予想される。遺物包含層は確認できなかった。

⑤地点3 トレンチ

水追遺跡の後期旧石器時代集落跡の東側に位置する場所にトレンチを設定し、集落の広がりを目的とした確認調査を実施した。池田カルデラや鬼界カルデラから降下した軽石や火山灰が厚く堆積しており、その下位から縄文時代・旧石器時代の地層を確認することができたが、遺物の出土はなかった。地層の堆積状況から、東側へ緩やかに傾斜する旧地形を確認した。

⑤地点4トレンチ

今回の確認調査で、最も東側に位置している。5m×5mの広さのトレンチを設定し、調査を行った。現在畑地として利用している表土面の直下層から、縄文時代と旧石器時代に堆積した地層を確認できたが、遺物の出土はなかった。地形的には、旧石器時代の集落跡が確認された尾根から一段下の谷部に位置している。

⑥地点

⑥地点は、昨年度後期旧石器時代の集落跡が確認された①地点の西側に位置している。2ヶ所のトレンチを設定し、集落の西側への広がりの確認を目的として調査を行った。

⑥地点1トレンチ

縄文時代の地層から、土器片や石器の碎片が出土している。池田カルデラのシラスが厚く堆積しているものの、地形的には①地点から西側へ標高的には高くなっている。縄文時代・後期旧石器時代の平坦地面が残存していることが予想される地点である。

⑥地点2トレンチ

5m×5mの広さのトレンチを設定し、調査を行った。縄文時代の地層から土器片、石器片が数点出土した。また、後期旧石器時代と考えられる細石刃が1点出土した。

⑦地点1トレンチ

①地点の東南側に位置している現況杉林中に、可能な限り大きなトレンチを設定し、遺跡の広がりを確認する調査を実施した。調査結果では、東側・南側へ傾斜する斜面地であることが確認された。遺物包含層は確認されなかった。

◆文化財保護管理の部

(20) 国指定史跡指宿樺木札川遺跡買上事業

- 目的 平成7年度に国指定史跡に追加指定された指定地の追加購入を行い、史跡の保存と活用に資する。
- 内容 追加指定地18,636.59m²のうち、123m²を購入する。文化庁と鹿児島県の補助事業である。

◆刊行物の部

(23)『水追遺跡からのメッセージ』展示図録

『水追遺跡からのメッセージ』展示図録を作成した。先に記した学芸員の論文に加え、横昌信氏より「旧石器時代集落の景観復元への期待－水追遺跡の遺構群－」の玉稿を頂いた。

(24) 水追遺跡総合調査報告書

平成12年度に行なった水追遺跡総合調査報告書を刊行、遺跡の記録保存を行った。



第1図 調査トレンチ概略図

時遊館 C O C C O はしむれにおける博物館教育学の実践と課題

ミュージアム・ティーチャー
井上栄一郎 小原家達 広浜満夫

1.はじめに

(1) MT会の目的

今までの博物館が持っている機能は、資料の収集、研究、展示に限られていたが、近代社会における博物館の機能の中に教育活動が加えられてきつつある。

博物館は研究活動を行う一方で、博物館という文化、教育機関として、もちろんの研究成果を社会に還元する重要な機能がある。資料そのものが重要であると考える以上に博物館の利用者が最も大切であり、その利用者の求めに応じることが博物館の使命と言え、その一つとして教育活動を展開するのである。

博物館教育は、実用的な技術の習得や知識の押し付けではなく、創造的な学習活動の場を提供することが重要であり、知的なレクリエーションといえるのである。人類が今までに得た知恵と芸術を新たに認識し、その感動を伝えるこそが博物館の目的である。

そこで、博物館における教育は、これからは、常設展示、特別展示などの他に学芸員、または、MTによる展示の解説活動が必要となる。

そこで、博物館教育活動は、押し付けではなく利用者の求めに応じて直ちに提供できるものでなければならない。つまり、博物館は豊かな人間性をはぐくみ自己形成のための学習の場としての公的なサービス機関であると認識する時代である。

(2) 時遊館 C O C C O はしむれの概要

時遊館 C O C C O はしむれは、地域に開かれた博物館を目指し、その活性化を図って開館したのが、平成8年4月であったが、すでに5年の年月を数える。この間、指宿市内はもちろん、鹿児島県内外の子供から大人まで多くの人々が訪れ利用しているところである。

博物館の長所としては、第1に、利用者が求めるテーマや具体的な事項が、利用者の立場からみて分かりやすい適切な方法によって展示案内されているということである。

展示のテーマは「自然と隼人、生きづく文化」で、火山とのかかわりの深い南九州・指宿の自然と古代隼人やその祖先たちの生活文化が織り成してきた長い歴史の中から新しい文化創造の息吹を喚起する。また、単に展示物と見学者の間に立って、興味深く、楽しく展示解説を行い、見学者に高度なサービスを提供するミュージアムティーチャー（博物館指導員）を設置していることである。

博物館の活動として、資料の収集・保存と調査・研究活動、それに展示・教育普及活動がある。ここでは、展示・教育普及活動の中の、MTの学習支援活動の現状について述べることにしたい。

2. MTの学習支援活動の現状

(1) MTの役割

博物館にはいろいろな人々がいろいろな理由で訪れる。何らかの目的を持って来館する場合もあるが、近くに来たので何となく立ち寄るということもある。博物館にくる動機は、様々である。MTの活動としては、利用者一人一人の興味や関心を大切にし、利用者の立場から見て分かりやすく適切に説明できるようにしなければならない。

時遊館 C O C C O はしむれには、ガイダンスする歴史劇場と常設展示室がある。常設展示は第1展示に指宿の自然、第2展示室に指宿の文化の始まり、第3展示室に古墳時代の村の復元（体験ゾーン）、第4展示室に古墳時代～奈良・平安時代の生活文化がテーマとなっている。また、特定のテーマに基づいて行われる企画展示がある。この歴史劇場と常設展示室で案内・説明に当たっている。

①特に留意していること（一般的）

- ・発見、感動、探求、体験、考察を繰り返す学習過程を配慮する。
- ・見学者の関心を高め、1つの体験から、なぜだろう、そのわけは、と新しい問題意識を持つようにする。
- ・展示資料が、どんなところで、どのような状況であったのか、どのように利用されていたのかなど、実物であることの臨場感を伝えるようにする。
- ・利用者の自発的学習に指導助言を与えるようにする減額者とMTの会話をするような雰囲気づくりに努める。
- ・ワークシートをうまく活用していく。
- ・もう一度来館したくなるような配慮をする。

入館者に不快感を与えないように態度や言動に注意を払う。仕事に対して前向きな考えを持ち、若若しく、全身に気力を充実させ笑顔をもって接する。

- ・情報提供を行う上で展示の解説だけでなく、一般常識としての教養を身につけるように努力する。
 - ・いつも感動を創り出す、満足してもらうことをお手伝いしているということを忘れない。
- 展示物に対して、知的好奇心が生まれ、新しい学習が始まる。個人の学習の切り込み口として展示は重要な役割を果たすので、MTは、その手助け的な役目をする。

②児童生徒に応じた解説

- ・遠足、修学旅行による団体の見学では、興味本位で入館する人達と学習と関連づけ、課題を持って入館する人達とは見学の態度が大きな違いがある。

課題を持ってこない人達に対しては、火おこしの体験、パズルの組み立て等の体験や古墳時代の堅穴住居等に案内して興味開拓を高めるようしている。

小学校6年生は、社会科学習の古代の生活の単元学習のために来館する学校が多く、それぞれに学習課題を持ち熱心にメモなどを取って学習している。親子同伴で入館する熱心な親子については、学習のしおりを差し上げ、補助教材として説明すると大変喜ばれ、それを機会にまた来館される方もいる。

今年になって指宿市内の小学校の4、5年生が総合的な学習で博物館を利用することもできた。小学校時代から博物館に親しみを持ってくれることはありがたいことである。また、毎年夏休みの課題として、自由研究として自主的に訪れてくる子供たちも増えつつある。高校生でも学校から宿題として課題学習に取り組んでいるところもあり、解説にも力が入る。

③社年層、老年層などの世代に応じた解説

博物館を利用する人々は年齢や学年を問わない。いつでもだれでもあらゆる機会を通じて学習できると同時に、その学習要求も極めてたようである。それに対応することはとても難しいことである。

観光の一端として団体旅行気分、興味本位で入館される方々、古代人の生活に少しでも触れてみたいという人々、専門的にじっくりと資料展示を見学される方々と対応は難しい。MTが熱心すぎると、ゆっくり静かに見たかったのにという人の心証を害することも少なくない。また、見る側の多岐にわたる質問に答えるには、にわか勉強ではむづかしい。でも、ほとんどの見学者の方々が、「ただ見るだけでなく、解説をしていただいてよくわかると感謝される。専門的に研究しておられる見学者に対しては、その方のご意見やご指導をいただき参考にしたり、また、学芸員に対応してもらったりしている。

学習支援活動の実際

利用者一人一人の興味や関心を大切にする

「うーん、すばらしい展示だ。展示の意図が明確です。」第1展示室に入るなりの言葉である。時遊館COCOはしむれの独特な工夫が見られるとのことである。県内の文化関係の方であった。「テーマによる展示資料が入館者の心を誇り、じっくりと観察させる見ごたえのある展示である。」としきりに話された。毎月1回はここに来て、学び得たものを仕事の上取り入れたいとのことであった。展示の意図や構成、展示されていない資料、資料の研究の歴史など求める調査研究者や専門家へは、学芸員に対応してもらっている。

博物館の魅力は、展示にあるとも言える。土器(壺)に関心を持って来館した2人の男性を案内した。橋牟礼川遺跡を中心に見られる縄文土器から弥生土器の編年を案内し、第2展示室の祭祀遺跡へと移動した。そこの横瀬遺跡出土の弥生後期の壺形土器を目ざとく見て「これだよ、すばらしい壺だ」とのこと。口部から腹部のふくらみの形が整っていると絶賛された。さらに第4展示室の古墳時代の成川式土器の陳列を説明する。壺面に上から壺、甕、鉢と並べていること。それは、古墳時代前期から古墳時代後期へと新しく整った形や文様が見られるることを説明することであった。2人に、こんなにたくさん壺や甕、それに鉢を並べるとは圧倒されそうだ。圧巻だ。しかも、大きな壺を壺面の上に置いたのは、壺の下部底面を見上げるために、その壺の特徴をとらえるのに効果的だ、とこれまで絶賛された。今日は、3時間かけてここへ来たかいがあったと喜んでおられた。

楽しむだけでなく、考える要素を与える案内や体験学習の手助けをする。

実践例

煮炊きをするとき、火を起こすにはどれだけ苦労したかを体験してもらい、こんな苦労から火種を残すなどの工夫をしたことへの解説を進めていく。

縄文土器の文様はどのように刻まれていったのだろうかと疑問を持つ発問などしてみる。各地で発掘された土器の特徴から縄文時代の人々が広い範囲で交流していたことや文化圏をもっていたことなどを発展的に説明している。

感動を与える案内と感動を創り出す解説の工夫をする。

実践例

堅穴住居- 葦葺き屋根のにおい、住居の中での生活、燃えている炉、鍛冶屋の住居、仕事場、音と光による古墳時代

の1日の様子など演出後の解説の効果は大きく、見学者を古墳時代にタイムスリップしてくれる。

剥ぎ取りの手法による貝塚、地層、平安時代の火山灰で埋もれた島など、実物を目の当たりにみられるという驚きと感動は大きい。貝塚については縄文時代の貝塚の意義、縄文時代の人々の生活の様子を知るとき、ただのごみ捨て場ではないことを説明すると一層興味関心を持たれる。地層の展示は、縄文時代から平成6年までの地層、開聞岳の火山灰が積もった地層などがはっきりしているのでびっくりされる。平安時代の西暦874年3月25日の開聞岳噴火による島の断面の剥ぎ取りの説明では、当時の噴火のすさまじかったこと、100年以上も無人化になった橋幸礼川の様子などを想像してもらっている。

・縄文人と弥生人の食事コーナーでは、縄文人、弥生人の食文化がよくわかるように展示されている。そこで縄文人の食料確保の苦労、山や海の自然の食物を求めていた生活の知恵などの話は広がって楽しんでもらう。弥生時代、米づくりが始まっての生活の変化など、食については、とても興味深く質問もよく出たりして見学者との一体化が図れるところである。

・歴史劇場においては、古墳時代、平安時代の模型について、時代背景、生活の様子など解説すると大変喜ばれ、ここで理解されたことを元に2階の展示室へ向かっていかれる。

今後の課題と展望

年度当初、館の運営方針に沿って学習支援活動の学習目標と実践事項が設定されている。毎月の休館日に研修会を開き実践状況を報告しあい情報の共通化を図っている。年度末には、問題点を洗い出し、来年度への立案にいかししているところである。ここに主な問題点を述べてみたい。

(1) 学校教育との連携を図る

博物館の利用は、学校教育での利用が大きな割合を占めている。学校においては、学習指導要領に基づく年間指導計画によって、計画的に学習が展開される。一方、博物館においては、展示資料と学術情報や調査研究による研究成果によって教育普及活動が行われているのである。

①博物館利用の主体は学校である。学校がどのように活用し、博物館は学校へどのような働きかけが必要なのか、その特性を相互に理解するために、教科部会、同学年会、同好会等の研修会や事前研修会を開くことが第1である。

②各教科、教科外、療育でどのように利用できるか検討し、各教科、総合的学習、特別活動等の年間指導計画の中に位置付ける作業が第2である。

③すでに、いくつかの郷土教材資料があるが、この資料の活用と改善を図っていきたい。さらに、年間指導計画と関連の教材や学習の手引きの作成を進めていかねばならない。

④各教科、教科以外の指導計画に基づいた博物館学習が、各学校で計画的・意識的に進められるようになってほしいところである。また、博物館側の出前授業による支援も考慮されてもよいと思う。

博物館学習と関連する教科と教科以外の領域活動について記してみた。

小学校

社会科〈郷土学習・歴史学習〉

理科〈地域の自然・動物・植物の観察・自然保护〉

総合的学習〈地域・季節の行事、古代人の生活、自然や社会の観察〉

図工〈彫塑表現・鑑賞〉

道徳〈郷土やわが国の文化と伝統〉

特別活動〈学校行事(遠足的行事)〉

中学校

社会科〈地域の歴史や文化財の保護〉

理科〈野外観察と地質〉

美術科〈彫塑・デザイン、工芸鑑賞〉

道徳〈優れた伝統の継承、文化の創造〉

特別活動〈学校行事(旅行・集団宿泊的行事)〉

高等学校

社会科〈現代社会、地理、日本史〉

その他〈地学、工業、美術〉

特別活動〈学校行事(旅行・集団宿泊的行事)〉

地域社会との連携

生涯学習社会における博物館には、いろいろな教育機能と役割が期待されているのであるが、資料の収集や調査研究の成果を一般の人々に伝えることもその一つである。現在も開設されている市民講座や公民館講座での博物館学習が、市内の各公民館に波及し、それぞれの公民館で、講座に組み込まれて開設されることを期待している。

また、生涯学習社会における博物館による教育普及活動を支援している友の会がある。事業参加や博物館活動の支援、それにボランティア活動と意識的な取り組みが頗らしい。この活動の輪が、学校、地域子ども会、高校生クラブ、地域各団体に広がることを期待しているところである。

MT会としても、これらの諸団体との連携を密にしていきたい。生涯学習の自主講座や発掘調査、土器づくり等の体験学習に参加し共通理解を深めていきたい。

展示室の資料整備

教育普及活動の基本は、展示にあるといわれている。実物資料が教育的配慮で展示されている時、知的好奇心が湧き、そこに学習が成立するのである。子どもから大人まで、利用者が楽しんで学べる魅力のある知識・情報の提示はできないものだろうか。現在、各展示室に置かれているワークシートがある。さらに、各展示室のテーマに沿った解説資料を添えたらどうかと思う。これが、個人の興味・関心に応じた学習支援になるのではなかろうか。

研修の充実を図る

展示案内の教育普及活動の支えになっているのは、日常の研修活動である。毎月第4水曜日は、MT、ATの研修日に設定されている。年間研修計画によって、学芸員の指導を受けるなど相互研修に取り組んでいる。主な研修内容として、各展示資料の支えと成った研究者の研究成果や文献による講義、資料製作の体験活動、遠賀や博物館探訪などである。また、豊かな人間性と新しい感性を備えるために、一般教養図書等も読むようにしている。

このような研修の成果が、展示・案内の場に生かされていくのだと思う。

それは、利用者から見て、一人一人に応じた分かりやすい展示・案内となり、利用者に新しい発見や楽しみを与えるのではないだろうか。人間の最も強い欲求は、自己実現だといわれている。潤いのある学習の場として、豊かな生活の中での遊びや楽しみの場となるよう心がけていきたい。

指宿市考古博物館におけるAT（アシスタント・ティーチャー）の サービス業務について

アシスタント・ティーチャー 有田真紀 高野洋代 岡本さやか

1. はじめに

橋牟礼川遺跡は、日本で初めて縄文土器と弥生土器の使用された時代の違いを決定した遺跡である。指宿駅から、徒歩十分程の市街地にこの遺跡の博物館、「時遊館COCCOはしむれ」は建っている。平成八年四月にオープンして以来、多くの方々に利用され、喜ばれている。この博物館の特徴は大きく分けて二つある。まず、例えば展示室内に古墳時代の村の一部を再現し、堅穴式住居を復元。火起こしや、土器の模様付け、貢頭衣を試着しながら、当時の生活を感じることができる等、体験型博物館であること。そして、来館者に館内に快速に過ごし、遺跡に関して深く理解して頂けるよう、展示解説や案内、体験活動の補助、学習資料の準備、メンテナンス、清掃等、安全面への配慮など博物館におけるサービス業務の全般を行なうMT・AT会という組織が置かれていることである。

では、MT・AT会とは、どのような組織なのだろうか。まず、「MT」とは、ミュージアムティーチャーと呼ばれている博物館の先生で、主に展示の解説・案内を中心で活動している。そして「AT」とは、アシスタントティーチャーと呼ばれ、MTをサポートする役割と受付、案内を中心に活動している。「考古博物館」というと、普通、一般の方々には「堅苦しい」「見ただけでは何の展示か解かりづらいもの」というイメージがあるのではないかろうか。そうした解かりづらいものを、解かりやすくより身近に感じて頂き、多くの方が利用しやすいように、高度なサービスを提供することが必要なのではないか。そこで、MT・AT会が博物館に置かれることになった。ここでは、ATの業務内容を中心にいくつかの項目に分けて実践も含めて述べたいと思う。

2. 受付・案内

受付では、常時二名のATが勤務についている。ここでは、観覧チケットをはじめ図録等の販売、館内の案内、市内の遺跡の案内、市内の観光名所の案内、学習用ワークシートや諸案内用のプリントの準備、来館者の荷物の一時預かりなどを行っている。受付は博物館の窓口であり、「顔」である。第一印象を左右する場所なので、来館者への挨拶、言葉遣い、表情、身のこなしなどについて細心の注意を払いながら、明るく丁寧に対応し、温かく来館者をお迎えするよう努めている。

(1) 観覧チケット、図録等の販売について

観覧チケットや図録等の販売は現金を取り扱う仕事である。チケット販売は来館者の購入したいチケットの種類（個人大人、高校大学生、小中学生、団体大人、高校大学生、小中学生 小中学生半額券 砂蒸し温泉共通券（大人・学生）計九種類）、枚数を聞き、すばやく合計金額を伝える。団体客などは適用人数と割引額を提示し、来館者にメリットがあるように対応している。例えば、大人17名が入館した場合、団体は通常20名からである。個人大人（半価500円）を17名分購入すると8500円である。ところが団体大人（半価400円）は、20名で8000円である。このような場合、受付では個人・団体チケットのそれぞれの合計金額を示し、来館者にメリットのあるほうを勧める。精算のときは、現金を握りのうで、来館者との間に誤認のないように金額を声に出し、確認しながら、すばやく、正確に行なう。そうすることによって、来館者と受付側のやり取りをスムーズにするよう努めている。

この他、受付では、図録、ぬり絵なども販売している。こちらは来館者の購入時に、内容の説明を求められることもあるので、セールスポイントや、実際に自分が読んだり、ぬり絵などは試したりした時の感想を述べると、来館者の購入意欲を高め、売上増加に繋がっている。

(2) 館内の案内

博物館の案内をする場合、展示室、劇場の上映時間、野外博物館、トイレ、喫煙、飲食場所等、の場所をしっかりと把握し、来館者の要望にあわせて案内をする。劇場は上映の時間が決まっているのでチケット購入時に、上映時間の案内をする。また、上映まで時間があると展示を見ていて時間が過ぎてしまうこともあるので、上映開始の五分前には展示室の来館者に声をかけるようにしている。この他、野外博物館の案内も行なうが、特に小中学生の団体の時には交差点なども通っていくことになるので車などに注意し、危険なことがないように誘導し、案内する。

喫煙・飲食場所等は、基本的に一階のロビーとなっているが、来館する際に喫煙や缶ジュースを飲みながら入ってこれらることも多く、その時は「一階でお願いします。」と丁寧に言って案内し、来館者が不快な気持ちにならないよう充分注意をしている。

館内を案内する場合は的確に来館者の求めている場所を説明できなければならぬので、あやふやな言い回しなどは避けるようにしている。

(3) 市内遺跡の案内

ここ数年、市内の遺跡の発見が相次ぎ、マスコミ等で報道されたため、来館者の中には橋牟礼川遺跡だけではなく、指宿市内の他の遺跡も知りたいという方も多いいらっしゃる。そのような方々へこれらの遺跡の具体的な案内、現地説明会の資料配布、関連図録の紹介、遺跡までの道案内等を行ったりする。特に道案内の場合、遠方からの方も多いので印になる建物を紹介するなどして、詳しく行うようにしている。

(4) 市内観光案内

指宿市は観光地であるため、観光目的で博物館を訪れる方も多くいらっしゃる。そのため、受付では指宿市内の観光ガイドマップを配布したり、観光地の簡単な案内や道案内など情報提供も行ったりする。特に、市営の砂蒸し温泉施設については博物館との共通券を取り扱っているため、営業時間、料金、道案内などの詳しい情報も案内している。また、飲食店、郵便局、銀行、スーパーなどの場所も尋ねられることもあるので、地図を使って詳しく案内している。その他、JR、タクシーなどの交通機関の案内も行っている。

(5) 学習用ワークシート、諸案内用資料の準備と管理

展示室内の数ヶ所に小学生向けのワークシートを準備しており、それらの管理や補充などを行っている。また、勾玉作りなどの体験活動を案内した資料、橋牟礼川遺跡や市内遺跡の案内資料、英語版の展示概要案内資料、劇場上映時間の案内、アンケート、地図、パンフレット、観光ガイドマップ等の準備・管理なども行っている。これらの資料の補充や残り部数の確認を頻繁に行い、不足することのないように心がけている。

(6) 来館者の荷物一時預かり

来館者で大きな荷物を持っている方にはロッカーの場所を案内したり、受付で貴重品を除いた荷物を一時預かるなどしている。

3. はしむれ友の会との関わり

はしむれ友の会は、地域ぐるみで博物館を支援しようという目的で、主に考古学に興味のある方々などで構成されたグループである。主な活動は、市内の遺跡についての勉強会や古代土器焼き体験、夏休みに小学生を集めて博物館主催で行うキャンプのボランティアや、勾玉作り体験活動の提供、カフェはしむれの運営などである。これらの特に土器焼きの補助、勾玉作り体験の指導補助、カフェはしむれの客、などにATが関わることがある。土器焼きは友の会の会員が中心に行っているがこの時に受付をする。また、勾玉作りでは学芸員のアシスタントや参加者の活動をサポートしたりしている。そして、カフェはしむれでは接客業務（水出し、オーダー取り、配膳など）を中心に援助している。友の会も来館者に向けての体験学習やサービスを提供しており、これにより、博物館サービスがさらに充実する。これらの活動にMT・AT会が関わり、連携していくことで両者の一体化が深まり、サービスの向上が図られ、来館者が何度も利用して下さる「博物館」作りに繋がっている。

4. 展示解説

この展示解説業務は主にMTと同様に、ATも行なう。入館予約がある場合は団体名、時間、人数などのチェックや確認をし、見学予定時間から見学コースの時間配分を計画する。そして、限られた時間内で円滑に案内が行われるように館内での誘導を行ったり、高齢者や障害者の団体の場合はエレベーター使用時の補助も行ったりする。しかし、その日の勤務体制や状況によっては、ATがMTに代わって解説業務を行うこともある。そのような場合でも、臨機応変かつ一定した解説が行えるように、日頃からMTや学芸員から展示解説について指導・助言等頂きながら研修を重ねている。ここではこれらの指導をもとに解説業務を行う上で、AT独自で留意していることについて紹介したいと思う。

まず、来館者の見学予定の時間、年齢層、個人、グループ（家族連れ、修学旅行、会社関係の旅行など）の人数などを把握した上で、来館者の興味を引きそうなものから案内する。例えば、主婦層などには、古代のお鍋一土器の縄年にについてや、土器から解かる当時の人々の工夫、古代の食事の様子など、主婦の生活に密着したものを中心で説明すると、興味をもたれることが多い。小中学生の場合は子供達に解かりやすい言葉で、ややゆっくりと話しかけるようにし、学校での学習と関連付けたり、既習事項から説明すると子供達の興味を引くことができる。また、集中できる時間が限られているので退屈しないように質問形式で説明したり、案内コースを工夫するなどしている。その他、展示室内の数ヶ所にワークシートを準備し、子供達が自主的に学習できる場を設けてあるが、それらの学習活動を勧めたり、助言・解説などの支援も行っている。

また、この博物館は展示方法がとてもユニークなので、視覚的にインパクトのあるものも積極的に案内している。逆に来館者の方からさらに詳しい案内を求めることが度々あり、その展示物の背景やその他補足的なことも、案内できるように心がけている。

そして、これらの展示物と他の分野のものや、現在の実生活と関連付ける等の工夫をしながら案内すると来館者の遺跡に対する理解も一層深まり、考古学がより身近に感じられるのではないだろうか。

これらの解説を行う時、一貫して気を付けていることは、明るく、丁寧に、解かり易い言葉ではっきりと話すことである。一方的にマニュアル通りに話したり、難解な用語を多用したり、説明されるのをあまり好まない方に延々と話し続けたりなど、相手にストレスを与える対応にならないようにしている。来館者に合った案内を臨機応変に行い、相手の反応を見ながら会話のやり取りができ、リラックスした雰囲気作りに努めている。

このようなことに留意しながら、この遺跡の素晴らしさ、考古学のおもしろさ等を知ることで得られる感動を一人でも多くの来館者に伝え、知的好奇心を満たしてあげられるような案内をするのが解説する者の役目であり、喜びのではないだろうか。そして、今後も研修活動を重ね、MT・学芸員の指導を受けながら、分かりやすい、親しみやすい案内を目指して、解説業務の一層の充実を図っていきたいと思う。

5. 環境安全面の面面

(1) 活動内容

博物館内の環境を整え、安全を保てるよう、MTと協力して次のような活動を行っている。まず、来館者が快適に館内を見学できるように、開館時間前に展示室、歴史劇場、受付、ロビー等を中心とした清掃、ガラスケースに付いた手垢などの拭き取り、ごみ収集、トイレの簡単な清掃等を行っている。また、毎日、一定した案内業務が行えるように、館内の設備に異常はないか、展示機器が正常に動作するか、展示物に破損はないか、照明器具の消耗はないかなどの確認も行っている。この博物館は体験型博物館ということで来館者が実際展示物に触れる機会が多く、そのためか、展示物が破損することも多いので、その都度、修繕したりしている。

(2) 留意点

清掃については、特に来館者が頻繁に利用する所や、目に付きやすい所を重点的に行っている。博物館のイメージにも繋がる部分なので特に気を付けている。

異常が見つかった展示機器については、学芸員の方や係りの方と連絡を取り、できるだけ早く修繕するように心がけている。やむを得ない場合、来館者に利用できない理由を丁寧に説明し、理解を得られるように心がけている。また、そのような異常や破損を未然に防げるよう体験活動のコーナーでは補助に入ったり、団体の小中学生の入館時には見学開始前に注意を促すようにしている。

6. アンケートの実施について

(1) その意義と内容

これらの案内業務や来館者へのサービスの質をさらに向上させるために、来館者へのアンケートを実施している。アンケートは二種類あり、一つは来館者の出身地（県・市町村名）と、この博物館を知った方法（マスコミ、雑誌、知人の紹介、看板等）について、もう一つは、展示内容、案内、解説、職員の対応、接遇についてや、その他意見・感想を伺うものである。これらはあくまでも任意的なものであるが、それでも様々な意見・要望が寄せられる。

(2) 寄せられた声とその後

- 来館者の意見の一部を紹介すると、
- ・解説員の説明が解かり易く楽しめました。展示方法が工夫しており、今まで訪れた博物館の中で一番おもしろかった。
 - ・展示が素晴らしいし、解説員の方も親切で古代が身近に感じられた。もっと多くの人に見てもらいたい。
 - ・解かりやすく勉強になった。次回は是非、子供達を連れてきたい。
 - など、一応の満足感を得ており、好意的な印象をもっている意見が多い中で、改善してほしい点もいくつか寄せられた。まず、設備面では
 - ・駅からの案内・看板が少ない。もっと増やしてほしい。
 - ・展示室内に椅子を設置してほしい。
 - ・二階に大きな時計がない。
 - ・映画の再現シーンで鹿児島弁が使われているが、県外の人は分かり難いので字幕スーパーを付けたらどうか。
 - 設備等で改善できる個所はそれなりの処置を行ったが、それ以外のものについては職員にその意向を伝え、将来的に改善していくようにしたいと思う。
 - また、解説については、
 - ・解説員が「～ですね。」「～ね。」などを使うと見下されている感じがする。子供を相手にしているようで相手に失礼ではないか。
 - という意見が寄せられた。親しみやすい案内に努めるあまり、言葉遣いが愚かにならぬよう気をつけたい。
 - ・遺跡の特徴が解説の中で伝わってこない。何が他の遺跡と違うのかもっと明確にしてほしい。
 - という意見もあった。これについては私達の日頃の案内業務でも改善していくように努め、受付でも遺跡の特徴を紹介し、資料をチケット購入時に配布するようにしている。
- このようなアンケートから得られる貴重な意見は、案内業務の現状評価や一応の目安にもなり、また、私達の日常業

務に反映されるべきものであるので、今後もこのアンケートは続けていきたいと思う。

7. 研修活動

これら一連のサービス業務を支えるものとして、MT・AT会では研修活動を行っている。ここでは主に2つの研修について述べたいと思う。

(1) 月一回の研修会

毎月第四水曜日に二時間ほどの研修会を行っている。主に、案内業務についての情報提供や意見交換を行ったり、アンケートに寄せられた声や、来館者から直接頂いた意見・要望について話し合ったりする。また、毎回テーマを決めて学芸員の講話を聴いたり、現地視察など行ったりして、考古学に関する知識を深めている。

(2) 新人研修

新規ATが入った時は主に展示解説についての研修を行っている。まず、案内マニュアルに従って各自、遺跡や展示物についての理解を深めた上でMTや学芸員からの解説指導を受ける。MTや学芸員の解説を参考にしたり、何回も積極的・実践的に案内するなどして、独自の案内・解説ができるようにしている。

8. おわりに

このような活動を通して、毎日、様々な来館者をお迎えしている。できるだけ来館者のニーズに合った対応ができるよう努めているが、それが充分であるとは言いきれない。来館者、一人一人に温かく、心のこもったサービスを提供し、一人でも多くの方に喜ばれるように、今後も日々、研修を重ね、MTと協力しながら、案内業務・博物館サービス業務の質の向上を図っていきたいと思う。

指宿市考古博物館
時遊館 Cocco はしむれ

平成11・12年度
博物館年報・紀要

2001年3月発行

発行：指宿市考古博物館
指宿市十二町2290
TEL 0993-23-5100 FAX 0993-23-5000
E-mail cocco@po.minc.ne.jp

印刷：指宿新生社印刷
指宿市東方8068-3
TEL 0993-24-2002 FAX 0993-23-3805

